



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 天板や樹脂棚板・キャビネットが転倒、脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を必ず取付けてください。
  - ・棧木には虫食い・くされなどのない物を使用してください。
  - ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は厚さ18mm以上の合板を使用してください。
  - ・リフォームなどの場合で、棧木が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は棧木を必ず取付けてください。
  - ・天板やキャビネットの壁面（躯体）への固定の際は付属のねじを指定の本数使用し、棧木の場合は24mm以上かからせ、合板ベタ張りの場合はねじを貫通させてください。
  - ・必ず指定の位置で固定してください。
  - ・壁面（躯体）・床面への固定は付属のねじで天板やキャビネットの倒れがないように取付けてください。
  - ・安定した平らな床面に取付けてください。畳・じゅうたんなど不安定な下地に取付けないでください。
  - ・床は12mm以上の基材が合板製のものを使用してください。
- 樹脂棚板は切断後に必ず鉄芯を所定の位置に挿入してください。樹脂棚板が脱落するおそれがあります。

### ■取付け上のお願い

- 収納の荷重が床面へかかることを考慮し、床面下地の補強をしてください。  
(固定棚板の耐荷重は20kg、可動棚板・樹脂棚板の耐荷重は10kg、ハンガーパイプの耐荷重L900で30kgです。)
- 壁面（躯体）に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、引出しの開閉に支障が出るおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用しますと、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 熱を発するもの（家庭用電化製品など）は収納付近に取付けたり、収納内部に入れたりしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 湿気がこもる外壁裏への設置、多湿の個所への設置、コンクリートやモルタルへの設置はしないでください。基材のソリ・ねじれ・腐食の原因となります。
- 下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。潤滑材は使用しないでください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い求め店までご連絡ください。  
(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

## ■部材・部品一覧表

### ■横部材

部材・部品名	0900	1800
天板	1	1
L字アングル	—	2
取付けねじ(キャビネット側) (皿木ねじφ3.1×16)	—	4
取付けねじ(躯体側) (皿木ねじφ3.8×45)	—	4

部材・部品名	0400	0800
固定棚板	1	1
ジョイント部品(ボルト)	4	4

部材・部品名	0900(1枚)	0900(2枚)
可動棚板	1	2
棚ダボ(前/左)	2	4
棚ダボ(前/右)	2	4
棚ダボ(後)	4	8

部材・部品名	0800
樹脂棚板	2
鉄芯	1
棚ダボ(前/左)	4
棚ダボ(前/右)	4
棚ダボ(後)	8

部材・部品名	1200
寝具用棚板	1
L字アングル	1
取付けねじ(キャビネット側) (皿木ねじφ3.1×16)	2
取付けねじ(躯体側) (皿木ねじφ3.8×45)	2

部材・部品名	0450	0900	1800
天板用ハンガーパイプ	1	1	1
ブラケットA(止)	2	2	2
ブラケットA(通)	—	—	1
取付けねじ(皿タッピン ねじφ4×20)(D6)	4	4	6

部材・部品名	0450	0900
ハンガーパイプ	1	1
ブラケットB	2	2
取付けねじ (皿木ねじφ3.1×13)	6	6

部材・部品名	0400	0800
引出し用前後台輪	2	2
ジョイント部品(ボルト)	8	8

### ■奥行き部材

部材・部品名	D420
サイドレール	2
取付けねじ(天板側) (皿タッピンねじφ3.5×16)	4
取付けねじ(躯体側) (皿タッピンねじφ4×60)	6

部材・部品名	D420
中間レール	1
取付けねじ(天板・中仕切) (皿タッピンねじφ3.5×16)	7

部材・部品名	D720
寝具用サイドレール	2
取付けねじ(天板側) (皿タッピンねじφ3.5×16)	4
取付けねじ(躯体側) (皿タッピンねじφ4×60)	6

部材・部品名	D420
L字納まり用サイドレール	1
L字接続レール	1
取付けねじ(天板側) (皿タッピンねじφ3.5×16)	6
取付けねじ(躯体側) (皿タッピンねじφ4×60)	3
L字アングル(白)	1
取付けねじ(天板側) (皿木ねじφ3.1×16)	2
取付けねじ(躯体側) (皿木ねじφ3.8×45)	2

### ■縦部材



部材・部品名	D420
側板	1
L金具	2
L金具取付けねじ (皿タッピンねじφ3.5×16)	6
躯体固定ねじ (φ3.8×60)	2
躯体固定用ワッシャー	2
ねじキャップ	2

部材・部品名	D420
中仕切	1
L金具	3
L金具取付けねじ (皿タッピンねじφ3.5×16)	8
連結ねじ(φ4×28)	4
ねじキャップ	4
L金具取付けねじ(壁側) (皿タッピンねじφ4×30)	1

部材・部品名	D420
引出し用側板	2
L金具	4
L金具取付けねじ (皿タッピンねじφ3.5×16)	12
連結ねじ(φ4×28)	2
ねじキャップ	2

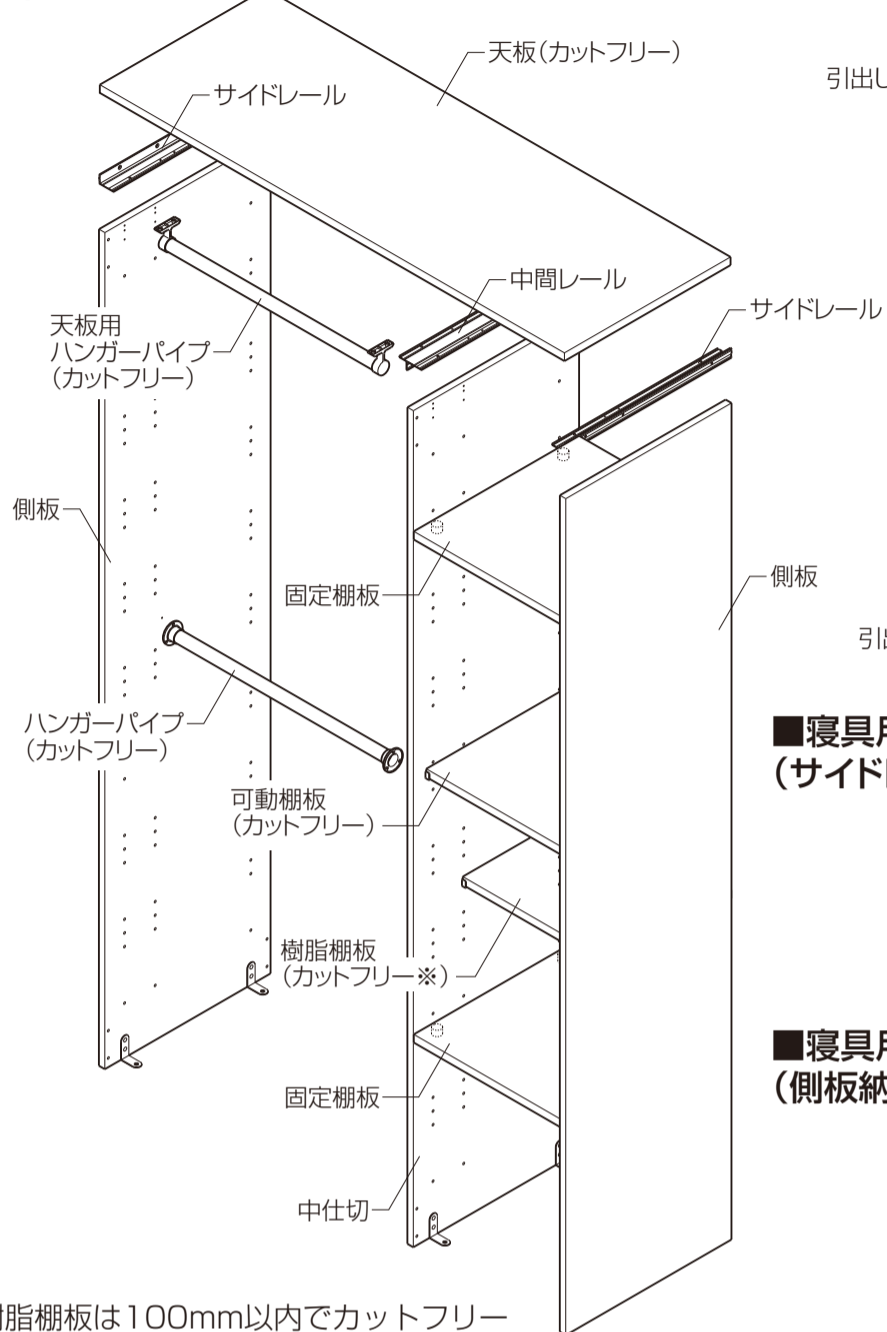
部材・部品名	D720
寝具用側板	2
L金具	10
L金具取付けねじ (皿タッピンねじφ3.5×16)	30
躯体固定ねじ (φ3.8×60)	2
躯体固定用ワッシャー	2
ねじキャップ	2
ジョイント部品 (ボルト)	6

### ■別売品

部材・部品名		
連結ねじ(φ4×28)		10
連結ねじキャップ		10

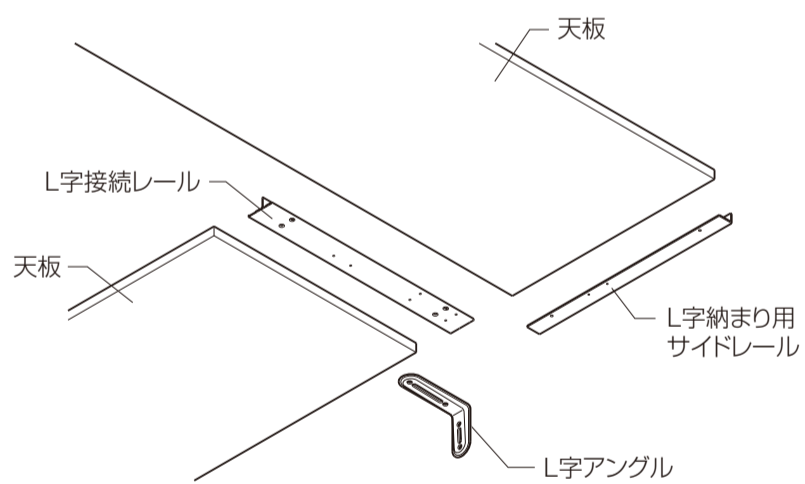
■各部名称図

■基本キャビネット

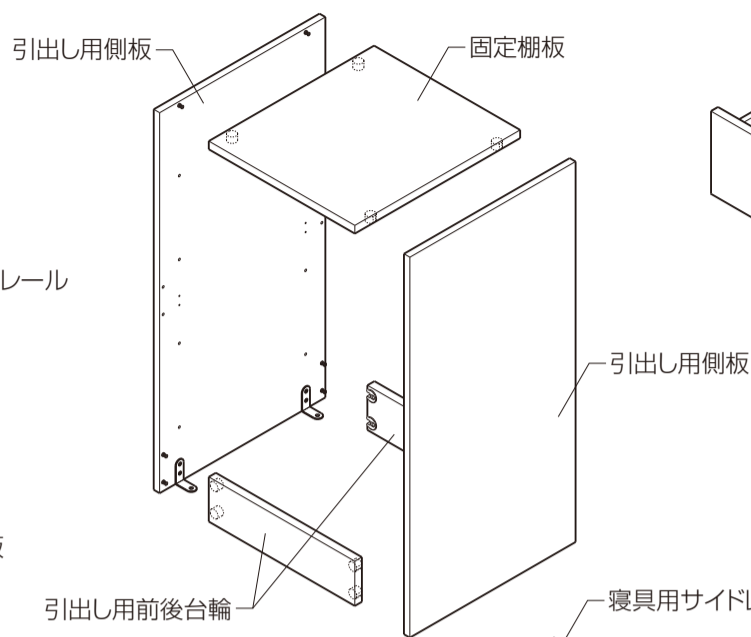


※樹脂棚板は100mm以内でカットフリー

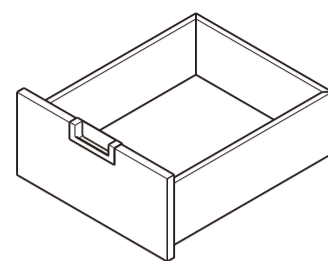
■L字納まりレールセット(下から見上げた図(左勝手))



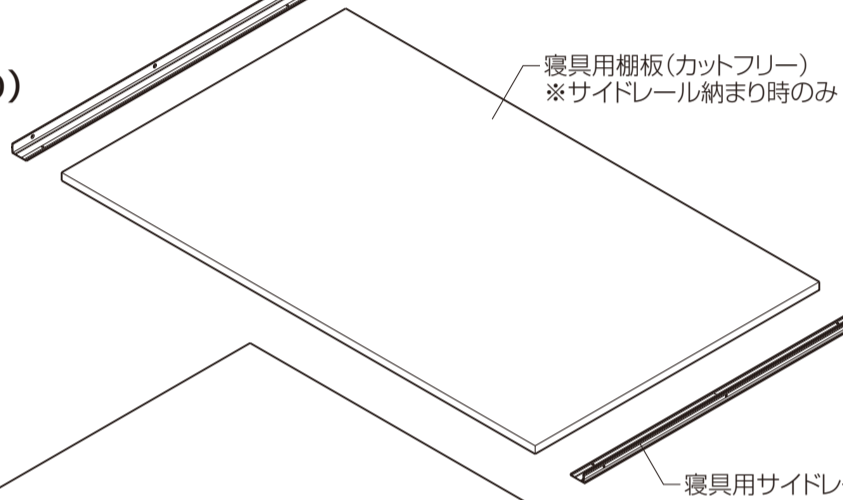
■引出し用キャビネット



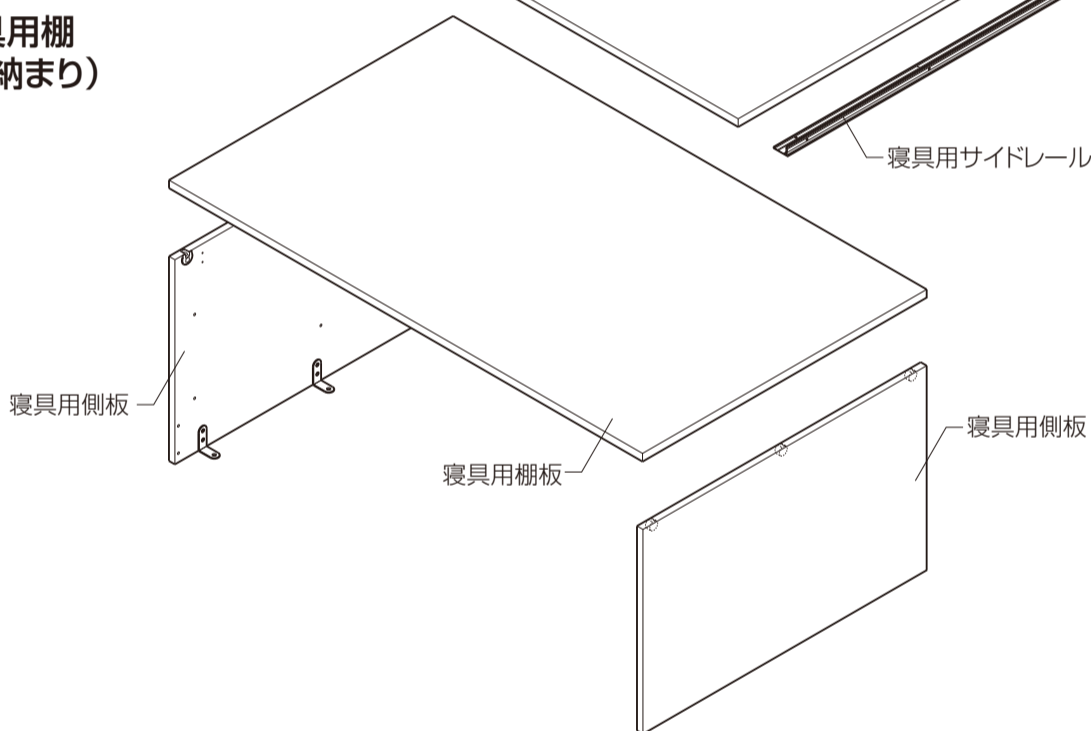
■引出し本体



■寝具用棚(サイドレール納まり)



■寝具用棚(側板納まり)



■据付け前の準備

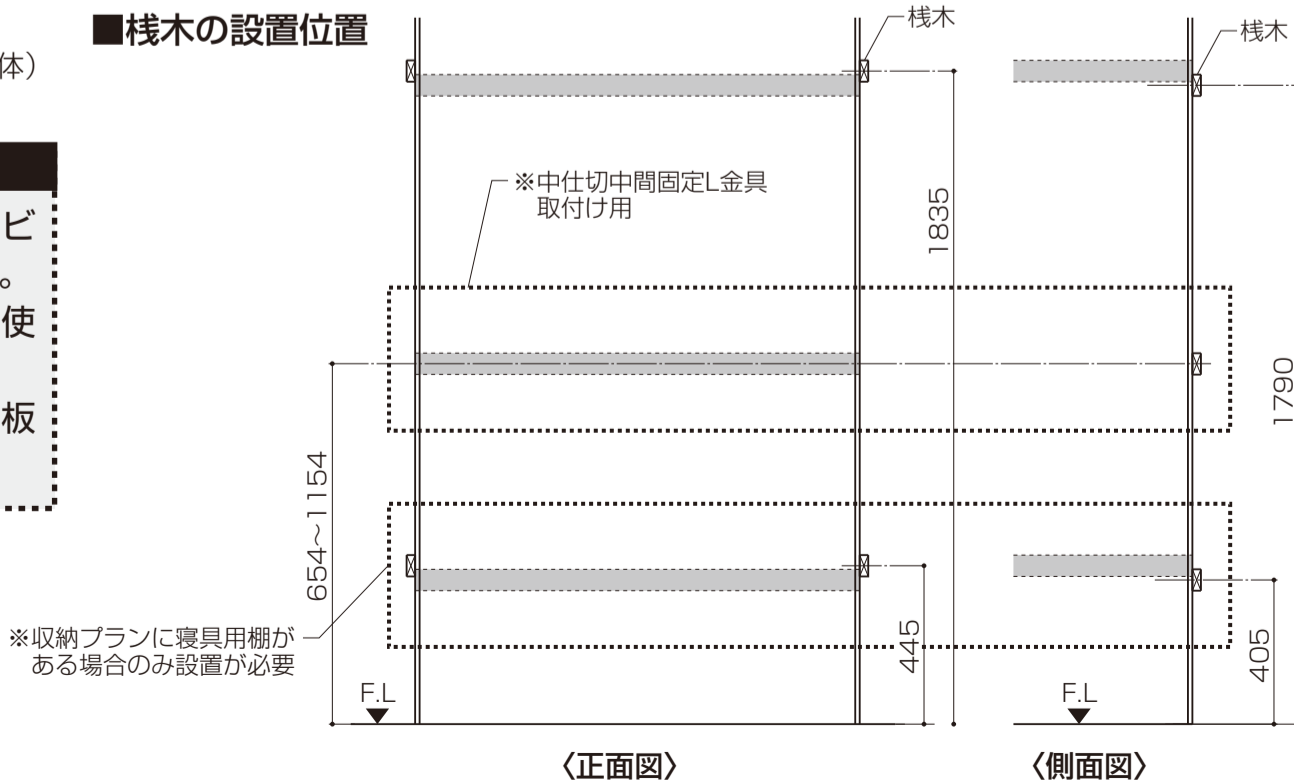
1 棧木の設置

●据付け場所・収納プランを確認し、所定の壁面(躯体)に棧木を設置します。

▲注意

- 必ず棧木を設置してください。天板やキャビネットが転倒、脱落するおそれがあります。
- 棧木は厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。
- ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。

■棧木の設置位置



## 2 収納スペースの仕上げ

●収納プランの引出しの設置の有無、引出しの位置を確認し、収納スペースの仕上げ（クロス仕上げ含む）をしてください。

**お願い**  
 ※水準器・下げ振りで収納スペースの水平・垂直を調整して仕上げてください。天板やキャビネットとのすき間の原因となります。

●収納プランに引出しがない、もしくはクローゼット枠の縦枠から引出しが入る側板までの距離が125mm以上離れている場合。

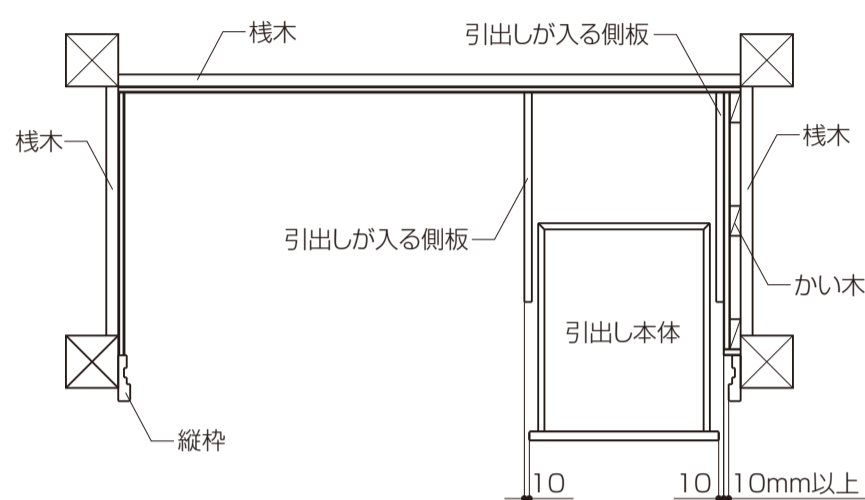
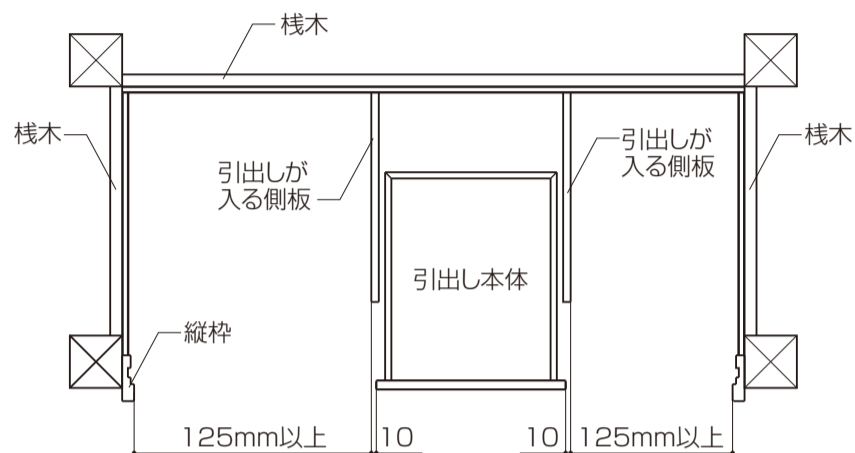
### ■使用可能なクローゼット扉タイプ

クローゼット折れ戸	ピボット	○
	フリー	○
クローゼット開き戸		○

●収納プランに引出しがあり、クローゼット枠の縦枠から引出しが入る側板までの距離が125mmに満たない場合。

### ■使用可能なクローゼット扉タイプ

クローゼット折れ戸	ピボット	×
	フリー	○
クローゼット開き戸		×



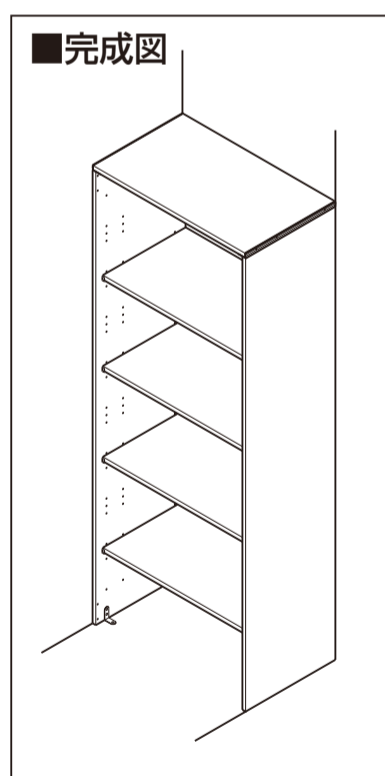
**お願い**  
 ※かい木を入れてクローゼット枠の縦枠から引出しが入る側板までの距離を10mm以上離してください。10mmに満たない場合、引出し本体が縦枠に当たるおそれがあります。

## ■組立て・取付け順序

●順序の概略は下図の通りです。詳細は具体的な収納パターンで説明します。



## ■パターン1 (側板と棚板のパターン)

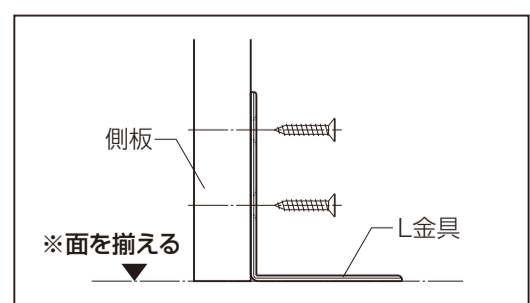
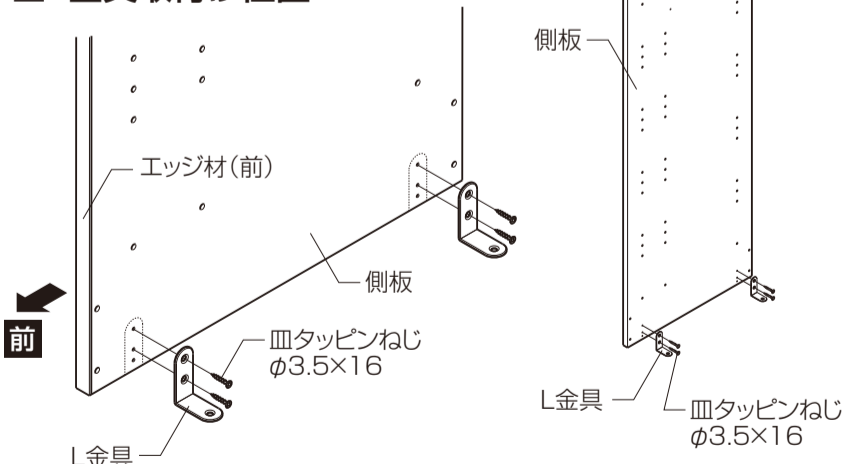


### 1 側板へのL金具の取付け

●L金具を、側板のL金具取付け位置に取付けます。  
 ※側板に左右勝手はありません。天地を反転させて、穴加工面が内側になるようにしてください。

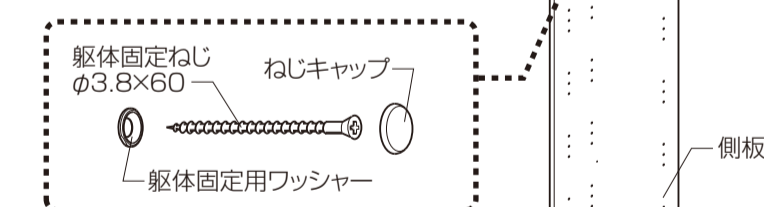
**お願い**  
 ※手回しドライバー、又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

### ■L金具取付け位置

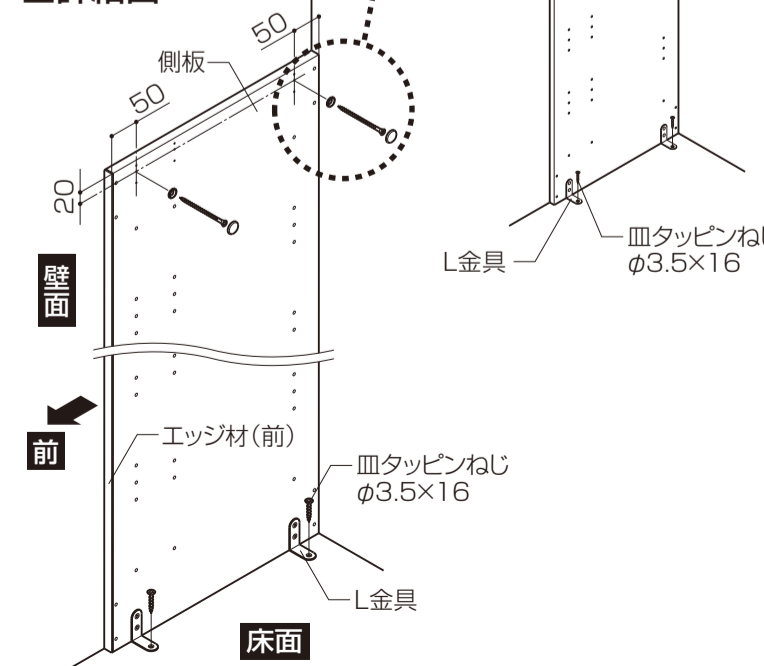


### 2 側板の壁面(躯体)、床面への固定

- ①側板を仮置きして壁面、床面とすき間がないように押付けます。
- ②躯体固定ねじφ3.8×60で、壁面(躯体)に固定してください。
- ③皿タッピンねじφ3.5×16で、床面に固定してください。

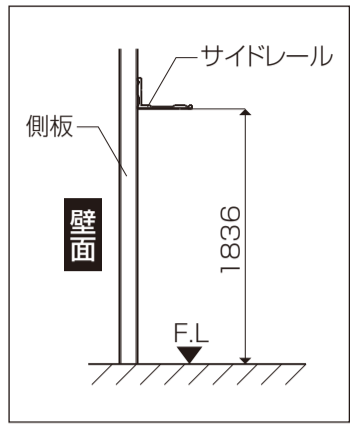


### ■詳細図

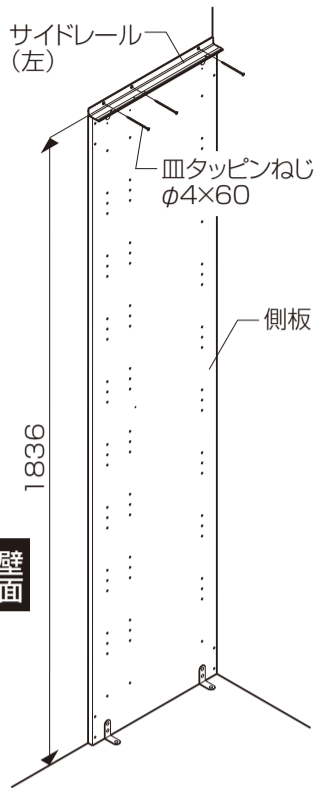


### 3 サイドレールの取付け

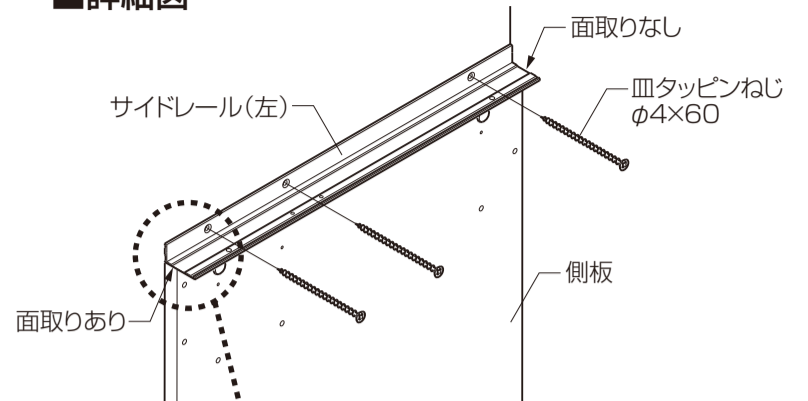
- ①サイドレールを側板の上に乗せて、壁面とすき間がないように押付けます。
  - ②皿タッピンねじφ4×60で壁面（躯体）に固定してください。
- ※サイドレールの下に側板がないパターンの場合、床面から1836mmの高さの位置に取付けます。



キャビネット前面

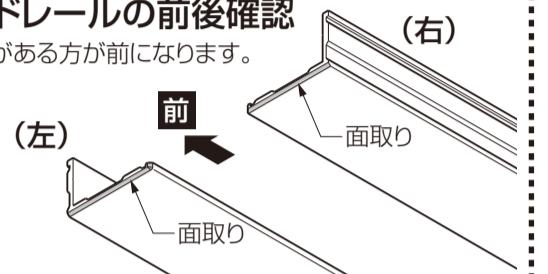


### ■詳細図



### ■サイドレールの前後確認

※面取りがある方が前になります。

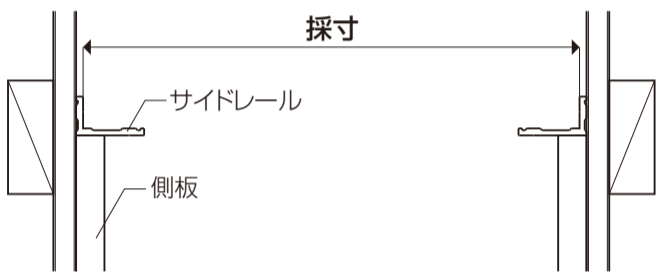


### ▲注意

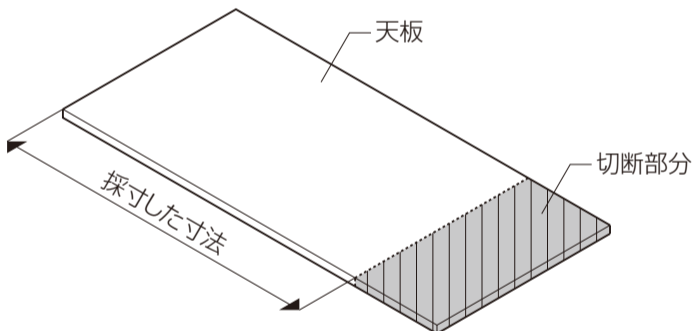
- 取付けねじは、必ず壁面の桟木又は18mm以上の合板に固定してください。天板・天板用ハンガーパイプ脱落の原因となります。

### 4 天板の取付け

- ①サイドレール内法寸法を採寸します。



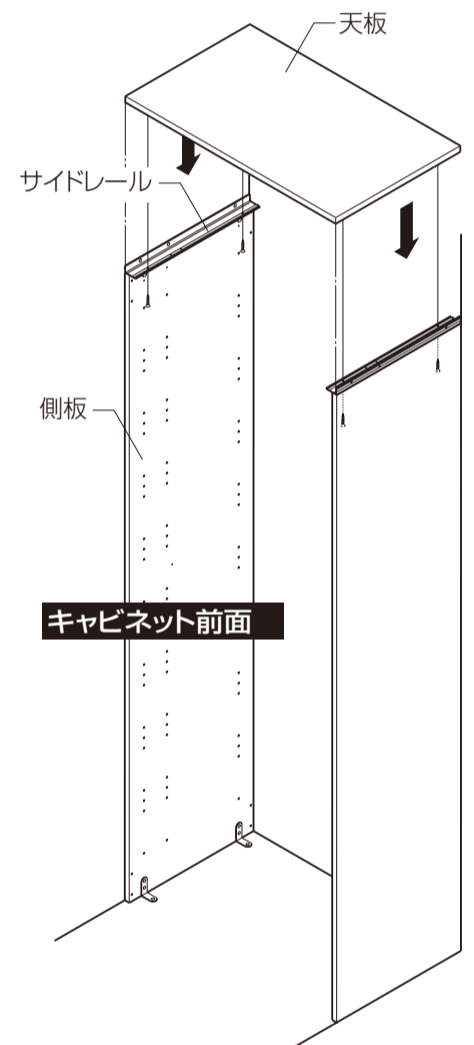
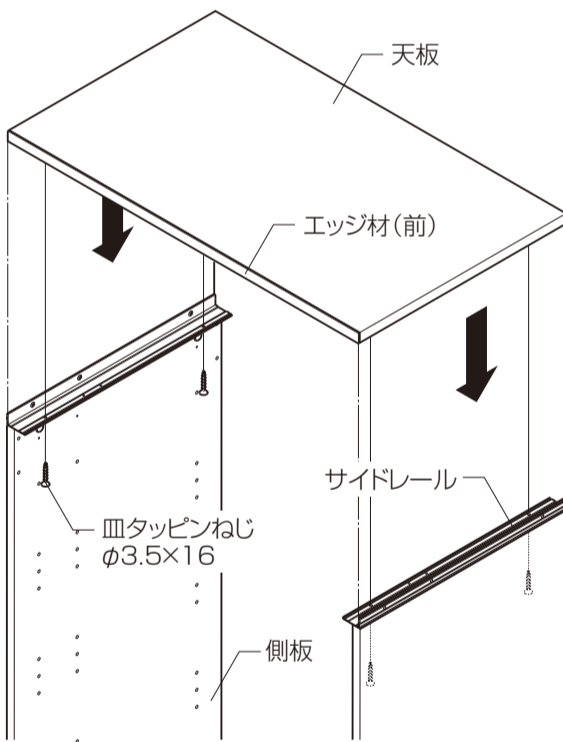
- ②天板を採寸した寸法で切断します。



- ③天板をサイドレールの上に乗せて、皿タッピンねじφ3.5×16でサイドレールに固定します。

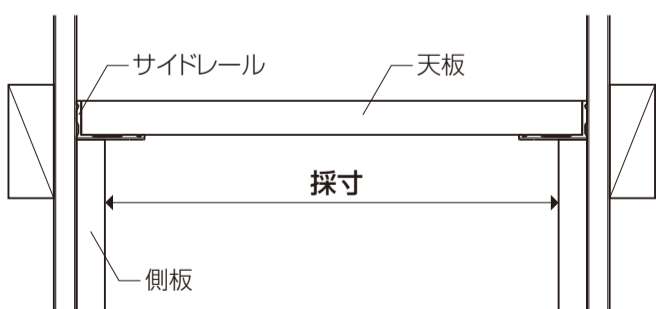
お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

### ■詳細図

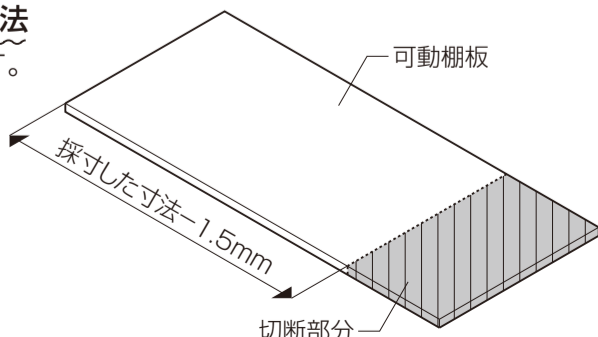


### 5 可動棚板の取付け

- ①側板内法寸法を採寸します。

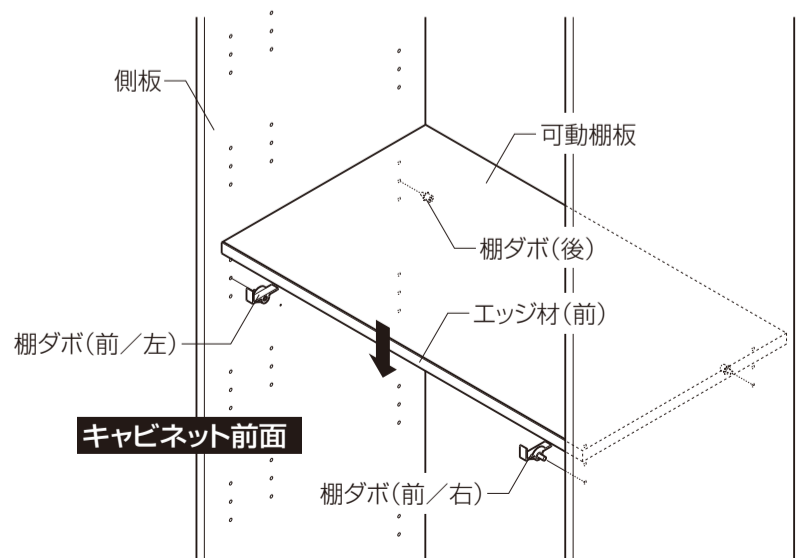


- ②可動棚板を採寸した寸法-1.5mmで切断します。



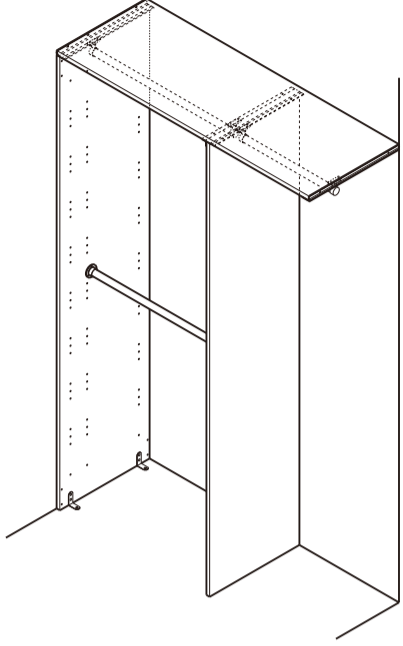
- ③側板に棚ダボを取付けて、可動棚板を棚ダボの上に置きます。

※棚ダボ（前）には左右勝手があります。下図を参照して取付けてください。



■パターン2 (側板・天板・ハンガーパイプのあるパターン)

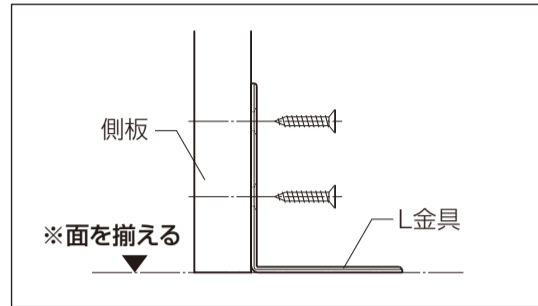
■完成図



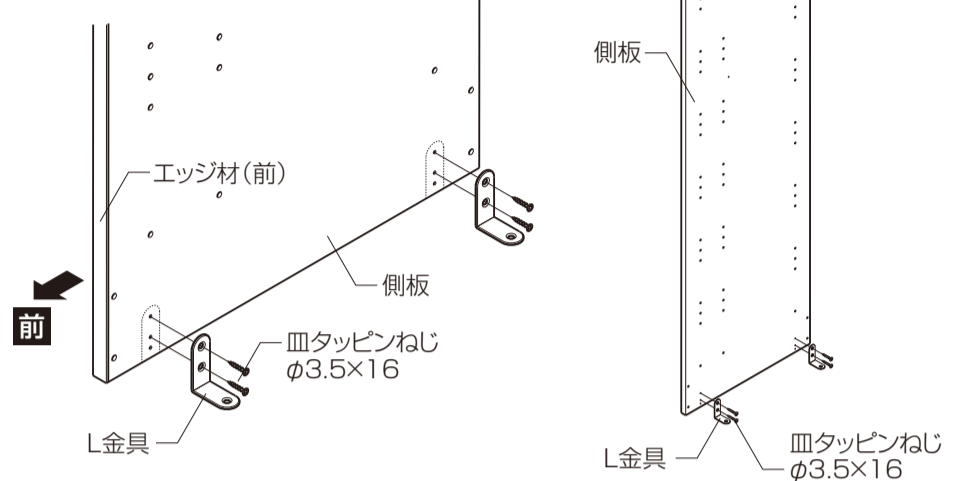
■1 側板・中仕切へのL金具の取付け

●L金具を、側板・中仕切のL金具取付け位置に取付けます。  
 ※側板・中仕切に左右勝手はありません。天地を反転させて、穴加工面が内側になるようにしてください。

●お願い  
 ※手回しドライバー、又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。



■L金具取付け位置



■2 側板の壁面(躯体)、床面への固定

●パターン1 / 2 (P4)を参照してください。

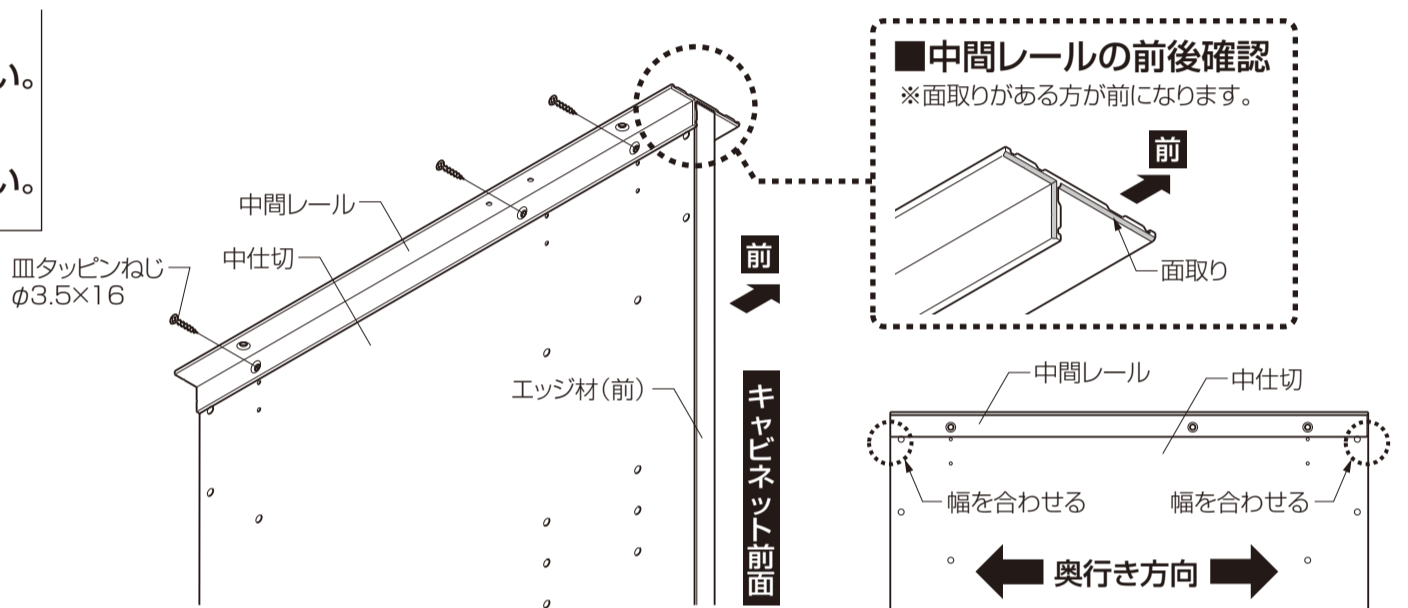
■3 サイドレールの取付け

●パターン1 / 3 (P5)を参照してください。

■4 中間レールの取付け

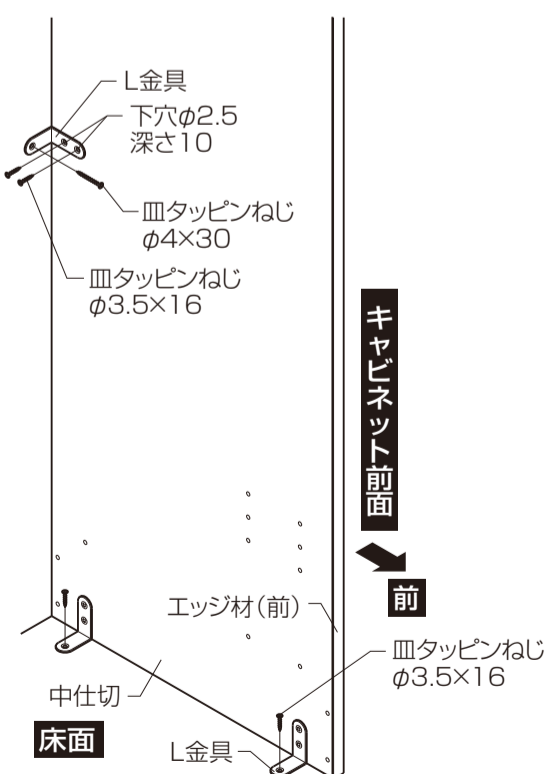
- ①中仕切の上面に中間レールを乗せて、奥行き方向の幅を合わせます。
- ②皿タッピンねじφ3.5×16で、中間レールを中仕切に固定します。

●お願い  
 ※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。



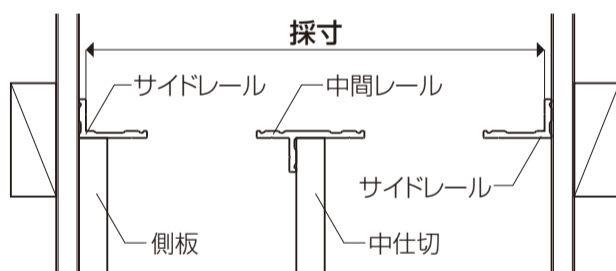
■5 中仕切の固定

- ①中仕切を床面に立てて、収納プランの所定の位置に仮置きします。
- ②側板-中仕切の平行を確認して、皿タッピンねじφ3.5×16で床面に固定してください。
- ③壁の桟木位置を確認し、L金具で壁と中仕切を固定してください。(L金具はハンガーパイプ取付け側に付けてください。)

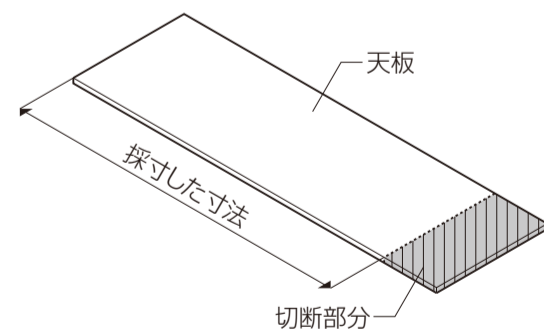


■6 天板の取付け

- ①サイドレール内法寸法を採寸します。



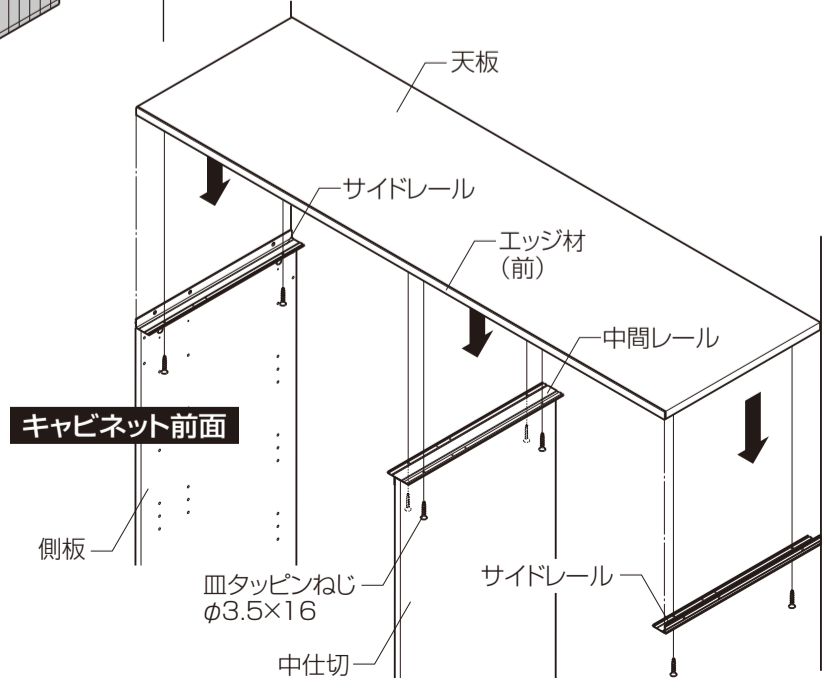
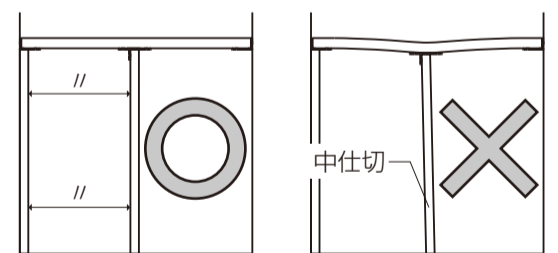
- ②天板を採寸した寸法で切断します。



- ③天板をサイドレール・中間レールの上に乗せて、皿タッピンねじφ3.5×16でサイドレール・中間レールに固定します。

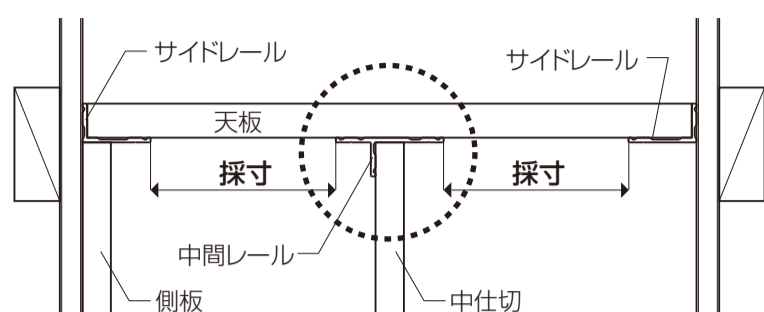
●お願い  
 ※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

●お願い  
 ※中仕切の倒れがないように取付けてください。

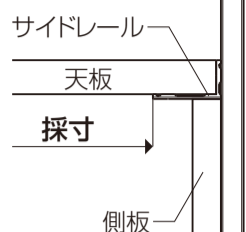


### 7 天板用ハンガーパイプの取付け

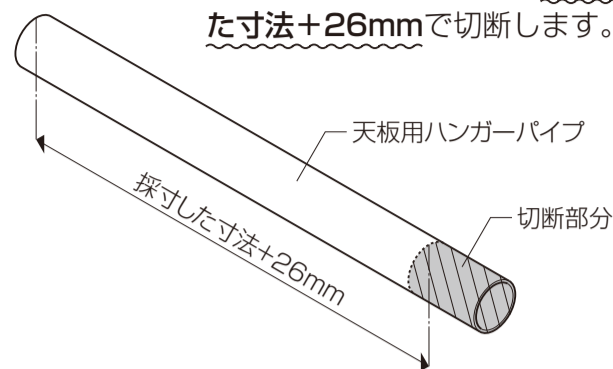
①サイドレール-中間レール間の寸法を採寸します。



#### ■片側サイドレールの場合

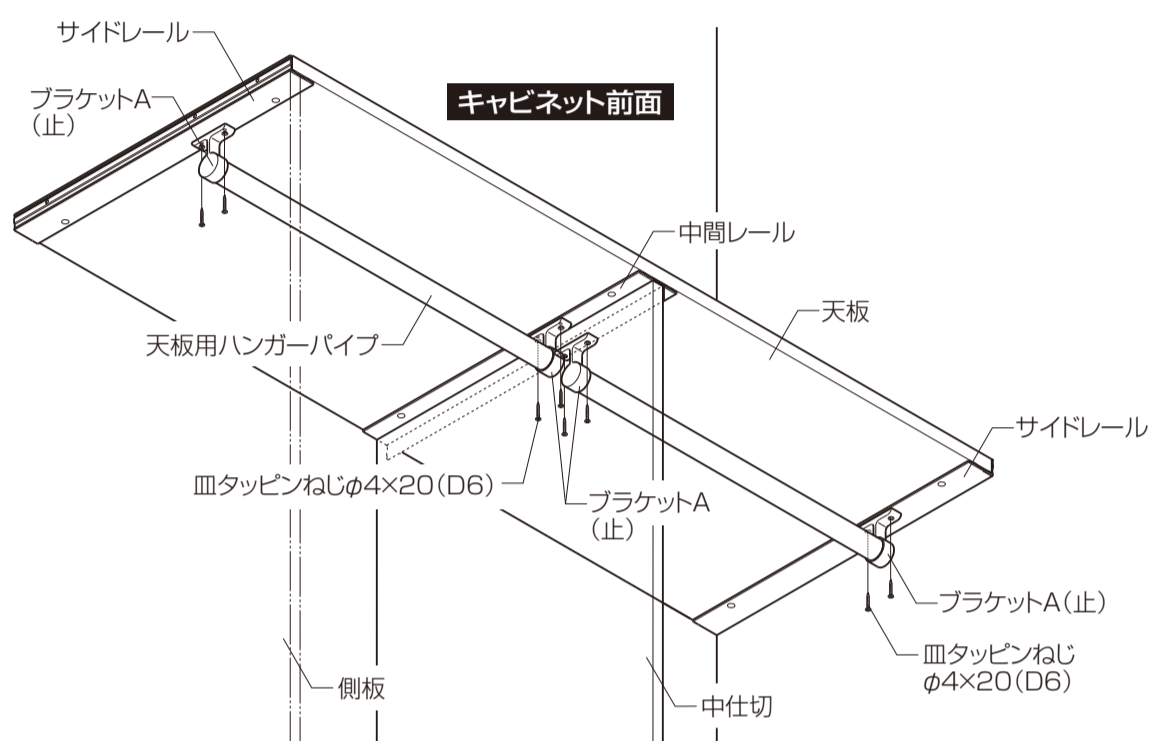


②天板用ハンガーパイプを採寸した寸法+26mmで切断します。



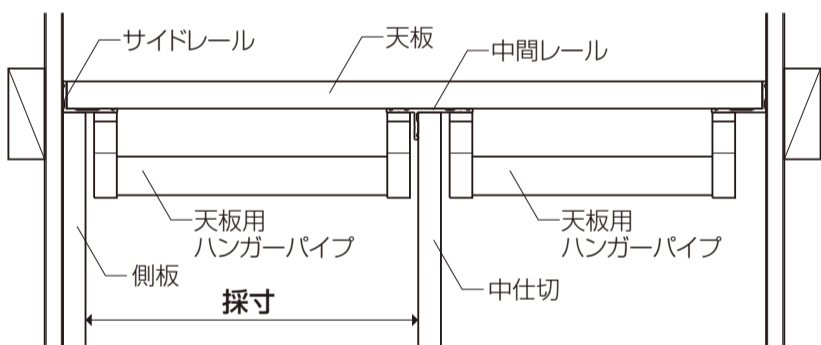
③天板用ハンガーパイプの両端にブラケットA(止)をはめこみ、サイドレール・中間レールの下穴加工に位置を合せて、皿タッピンねじ4×20(D6)で固定します。

お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

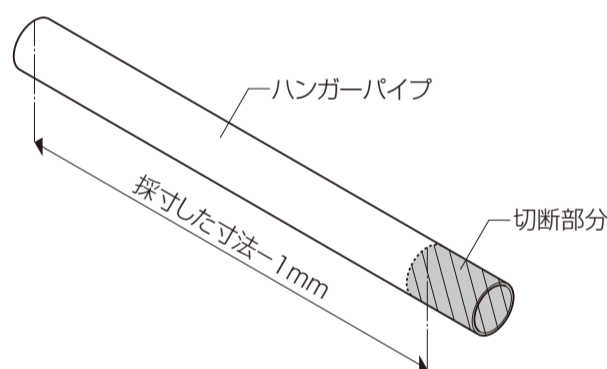


### 8 ハンガーパイプの取付け

①側板-中仕切内法寸法を採寸します。



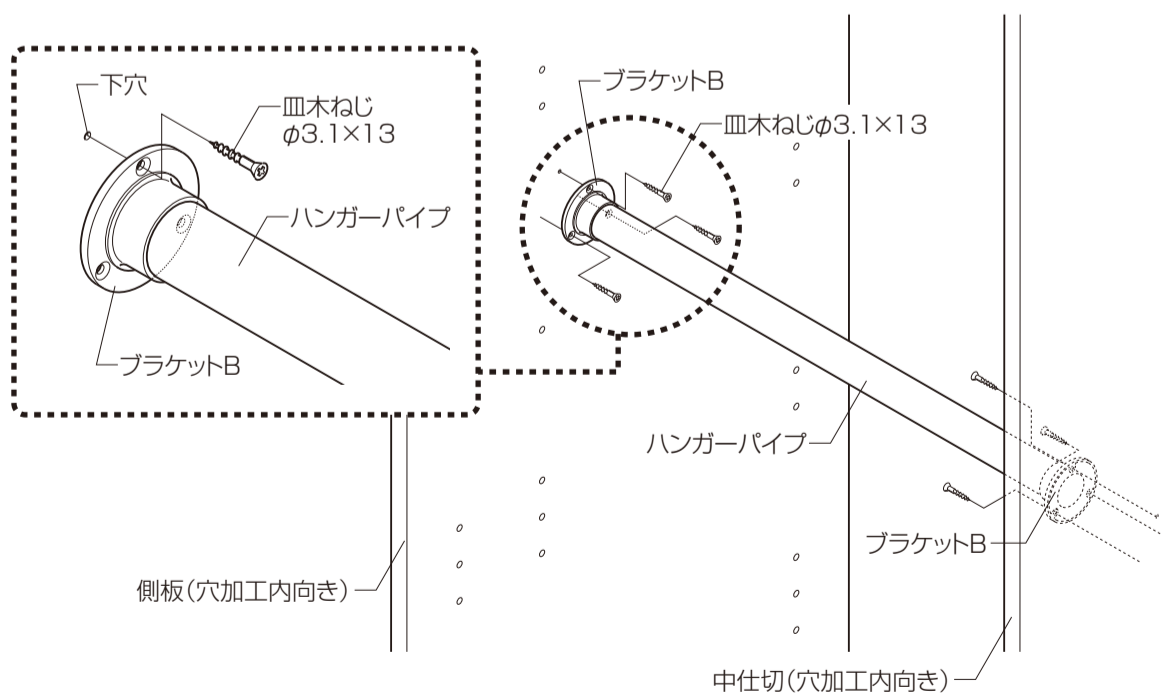
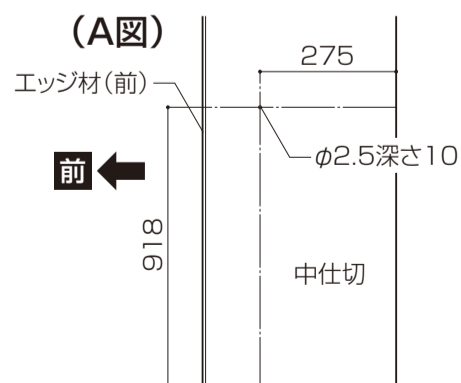
②ハンガーパイプを採寸した寸法-1mmで切断します。



③ハンガーパイプの両端にブラケットBをはめこみ、側板・中仕切に皿木ねじφ3.1×13で固定します。

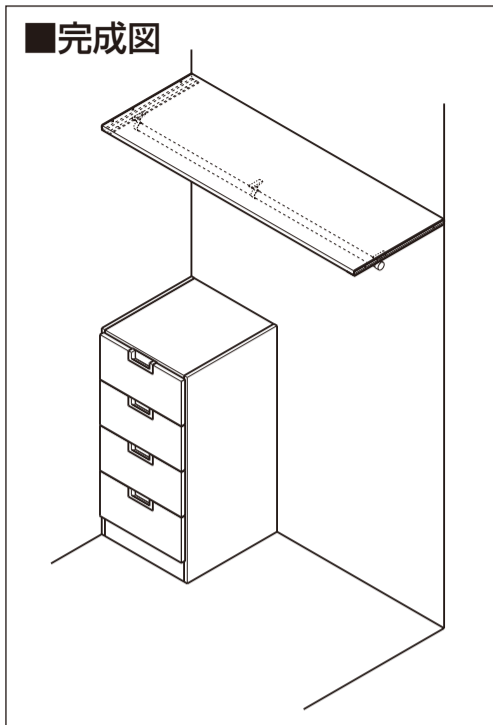
※中仕切の穴加工がない面にハンガーパイプを取付ける場合は、現場で右図(A図)の位置にφ2.5深さ10の下穴をあけてください。

お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。



■パターン3(天板・ハンガーパイプ・引出しのあるパターン)

■完成図

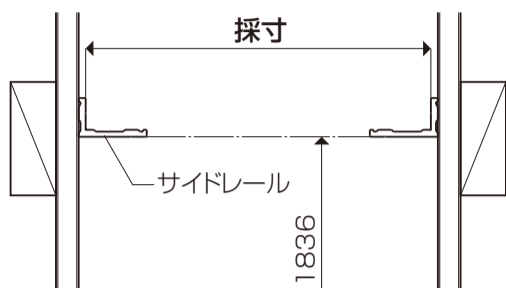


1 サイドレールの取付け

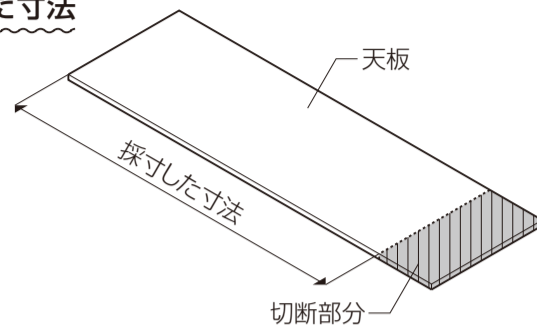
●パターン1 / 3(P5)を参照してください。

2 天板の取付け

①サイドレール内法寸法を採寸します。

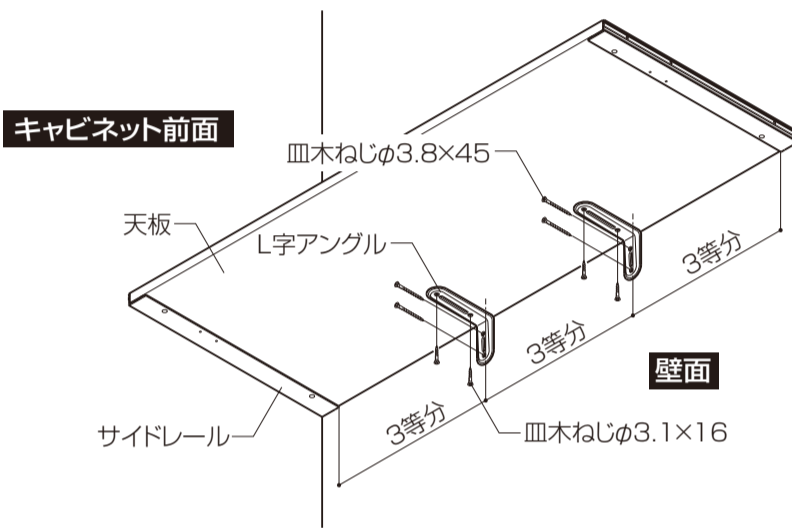
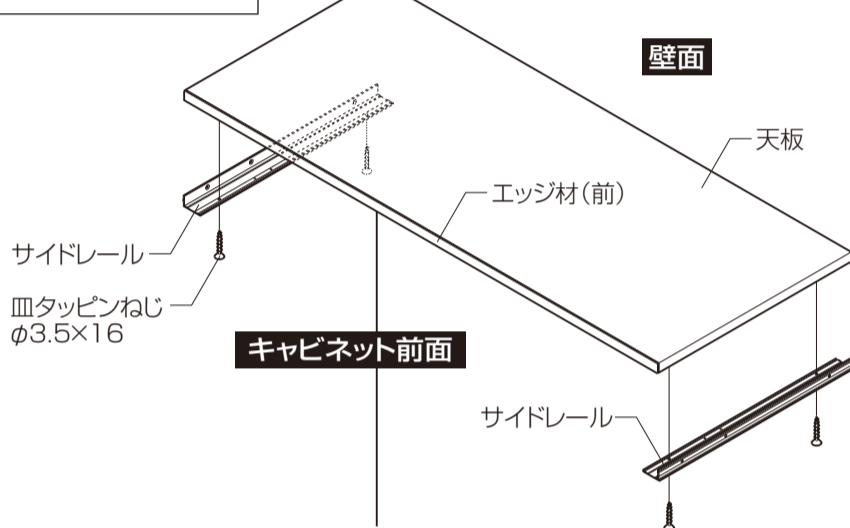


②天板を採寸した寸法で切断します。



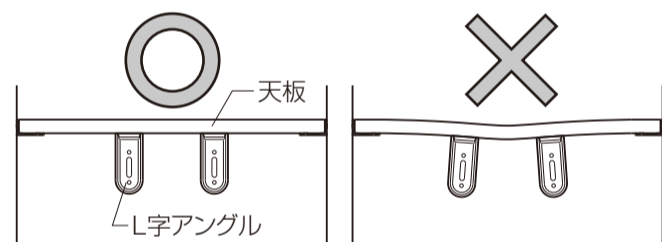
③天板をサイドレールの上に乗せて、皿タッピンねじφ3.5×16でサイドレールに固定します。

③サイドレール間の寸法を3等分した位置に、L字アングルを壁面(躯体)に皿木ねじφ3.8×45で固定します。次に皿木ねじφ3.1×16で天板に固定します。



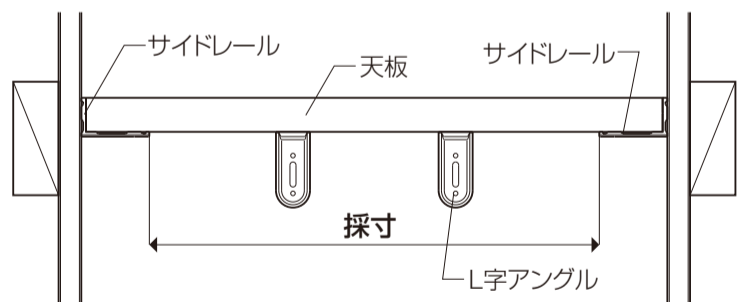
お願い

※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。  
 ※天板の垂れがないようにL字アングルを取付けてください。

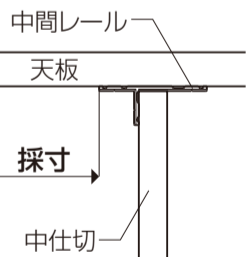


3 天板用ハンガーパイプ(L1800)の取付け

①サイドレール間の寸法を採寸します。



■片側が中仕切の場合



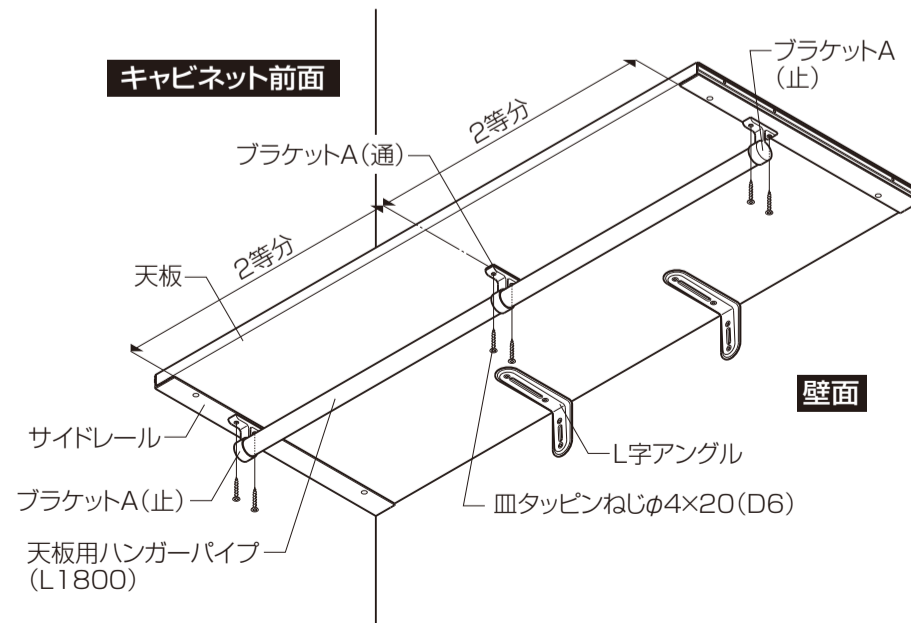
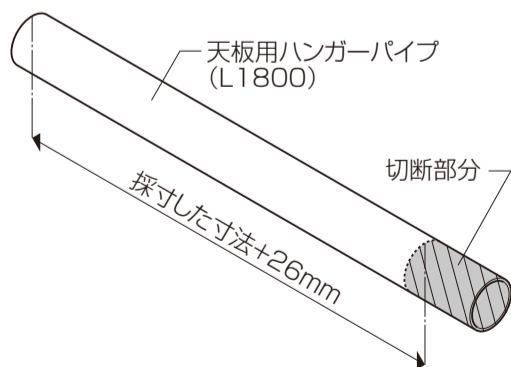
③天板用ハンガーパイプ(L1800)にブラケットA(通)を通して、両端にブラケットA(止)をはめこみ、ブラケットA(止)をサイドレールの下穴加工に位置を合わせて、皿タッピンねじφ4×20(D6)で固定します。

④ブラケットA(通)をサイドレール間の寸法を、2等分した位置に、皿タッピンねじφ4×20(D6)で天板に固定します。

お願い

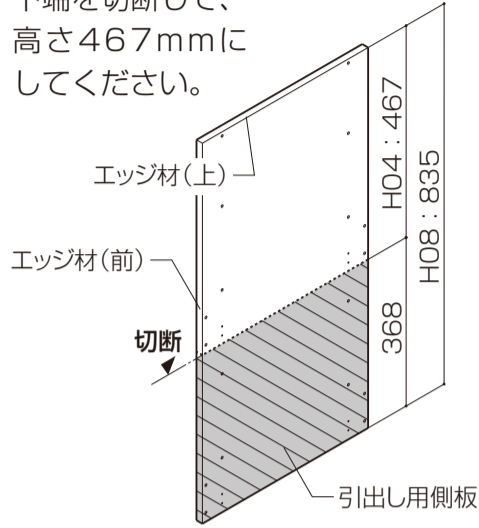
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

②天板用ハンガーパイプ(L1800)を、採寸した寸法+26mmで切断します。



4 引出し用キャビネットの組立て

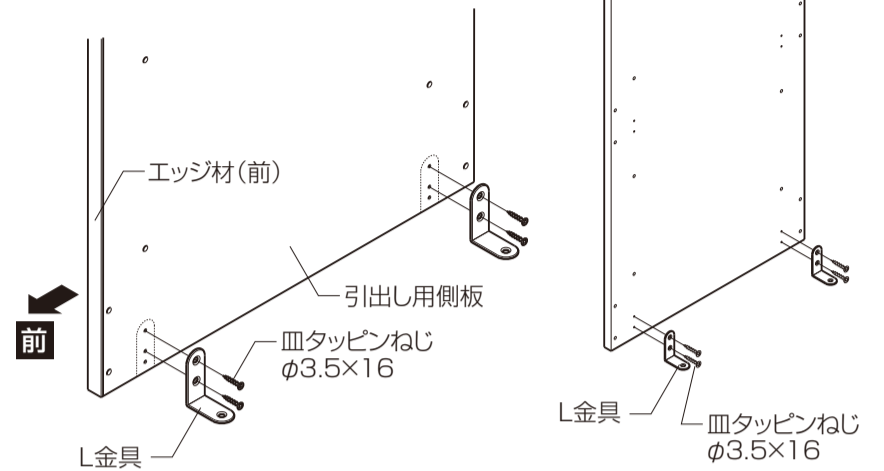
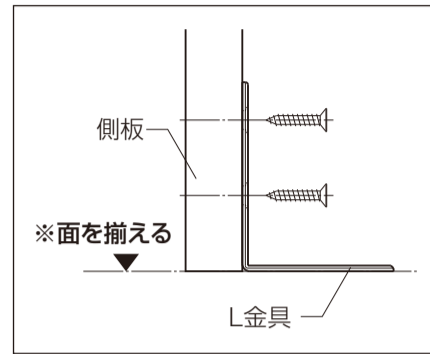
※引出し用側板はH08（引出し4段分）の高さです。H04（引出し2段分）として使用する場合は、引出し用側板の下端を切断して、高さ467mmにしてください。



①L金具を引出し用側板のL金具取付け位置に取付けます。

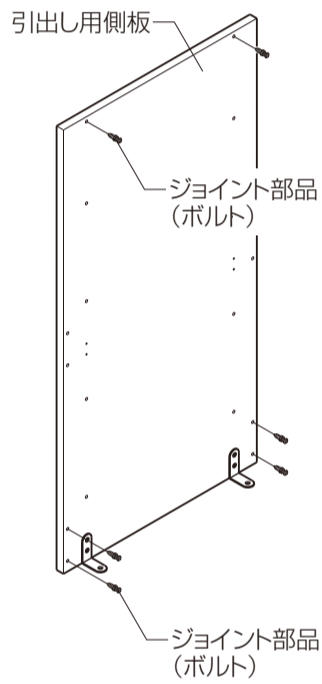
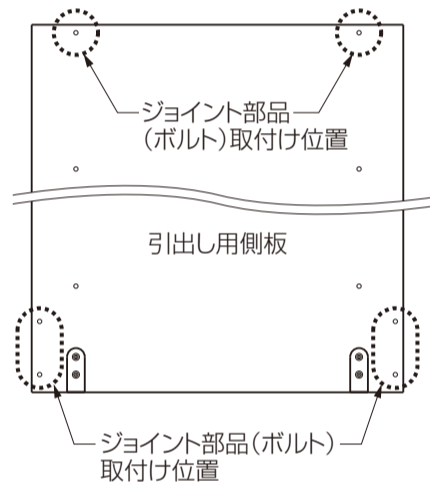
お願い  
※手回しドライバー、又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

■L金具取付け位置

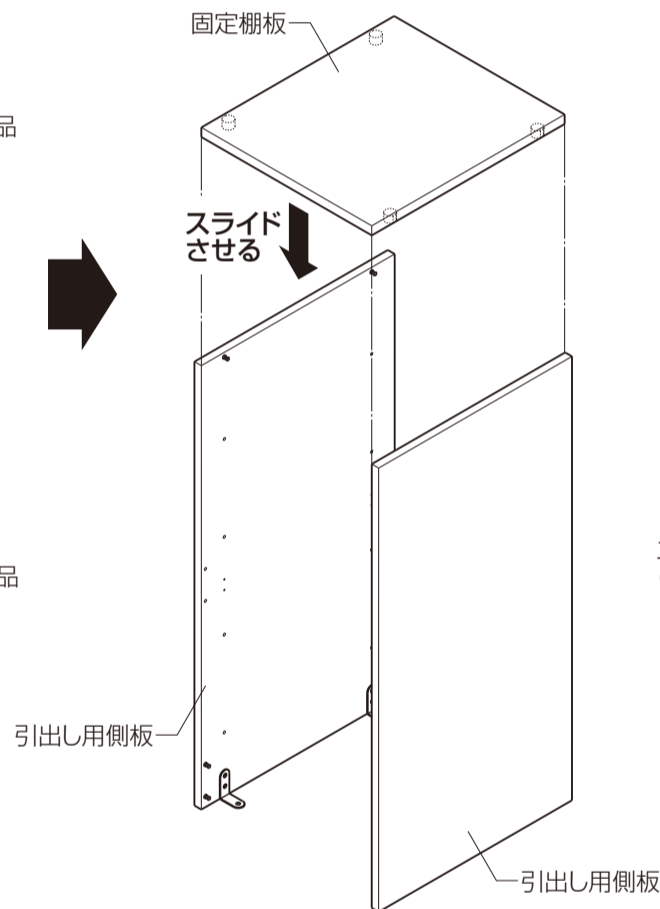


②ジョイント部品（ボルト）を引出し用側板に取付けます。

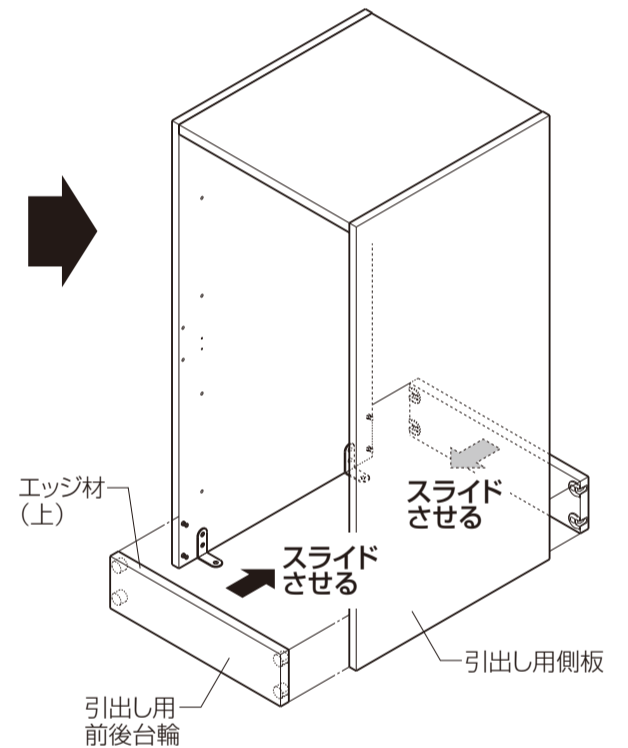
■ジョイント部品(ボルト)取付け位置



③固定棚板をスライドさせて、ジョイント部品で引出し用側板に固定します。

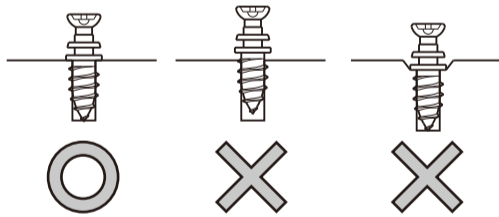


④引出し用前後台輪をスライドさせて、ジョイント部品で引出し用側板に固定します。



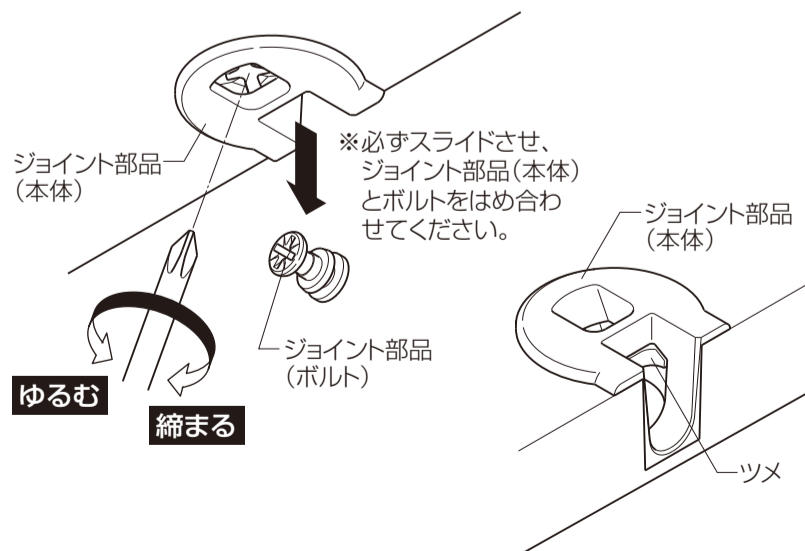
お願い  
■ジョイント部品(ボルト)の取付け方法

※必ず手回しドライバー又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。  
※適切な位置に取付けてください。組立てができなくなります。



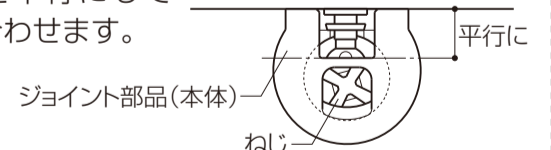
お願い  
■ジョイント部品の固定方法

※よく締まらない場合は、回転部のツメを直して締付けるか、ジョイント部品本体にボルトがはめ合わされているか確認してください。（回転部のツメが出ているとボルトが入りません。）  
※ドライバーは、斜めに差込んでください。ジョイント部品が破損するおそれがあります。



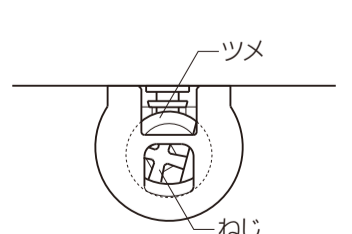
【はめ合わせ時】

※ねじの平らな面を側板と平行にしてはめ合わせます。



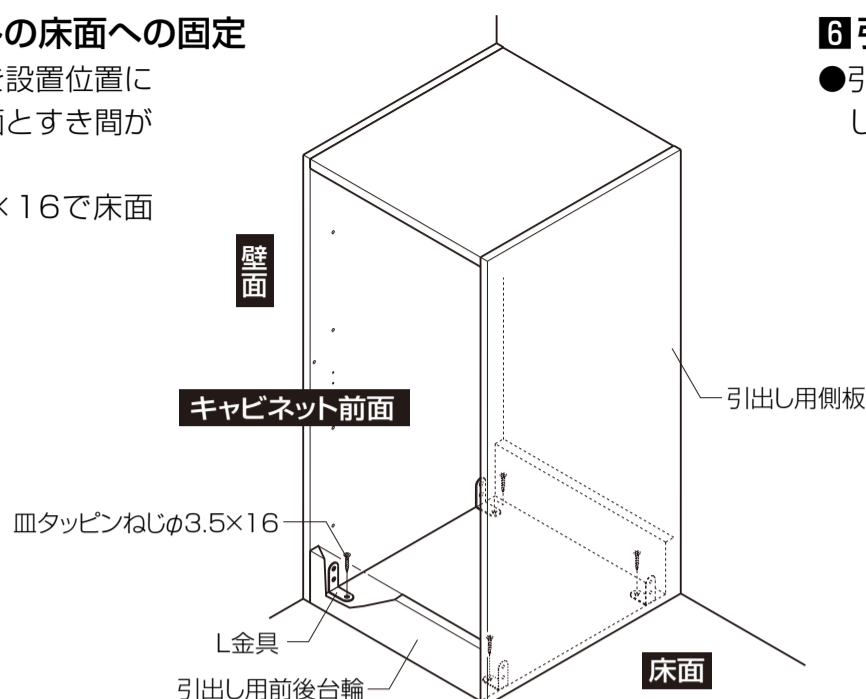
【締めた時】

※ねじを90°~105°回転させて固定してください。



### 5 引出し用キャビネットの床面への固定

- 引出し用キャビネットを設置位置に仮置きして、壁面・床面とすき間がないように押付けます。
- 皿タップピンねじφ3.5×16で床面に固定してください。

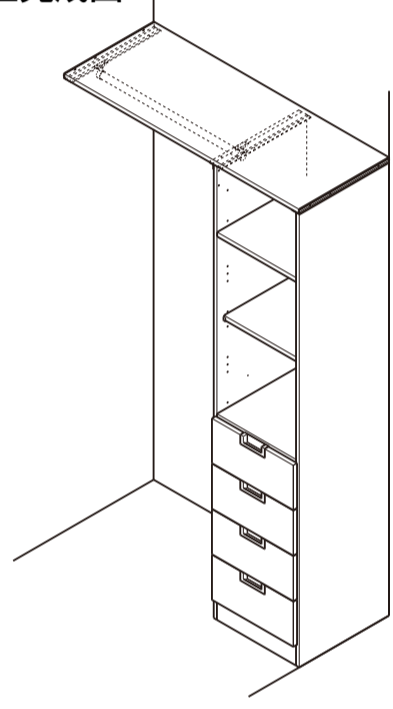


### 6 引出し本体の取付け

- 引出し本体に同梱の取付け説明書を参照して取付けてください。

## ■パターン4(天板・棚板・引出しのあるパターン)

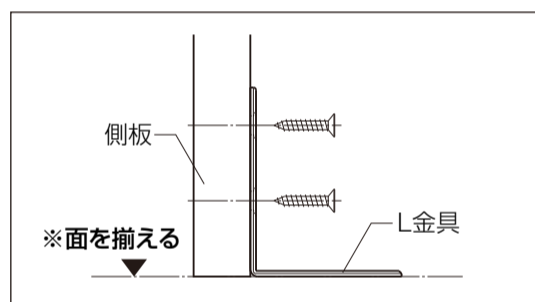
### ■完成図



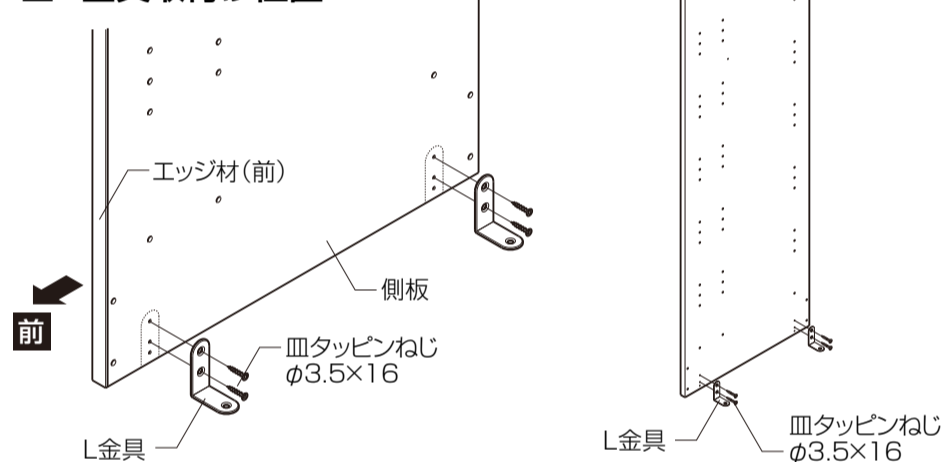
### 1 キャビネットの組立て

- L金具を側板・中仕切のL金具取付け位置に取付けます。  
※側板・中仕切に左右勝手はありません。天地を反転させて穴加工面が内側になるようにしてください。

●お願い  
※手回しドライバー、又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。



### ■L金具取付け位置



- ジョイント部品(ボルト)を側板・中仕切に取付けます。  
※取付け位置は、収納プランを確認して決めてください。

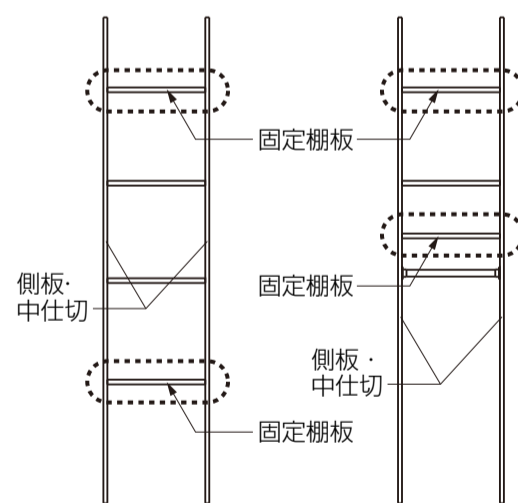
●お願い

### ■ジョイント部品(ボルト)の取付け方法

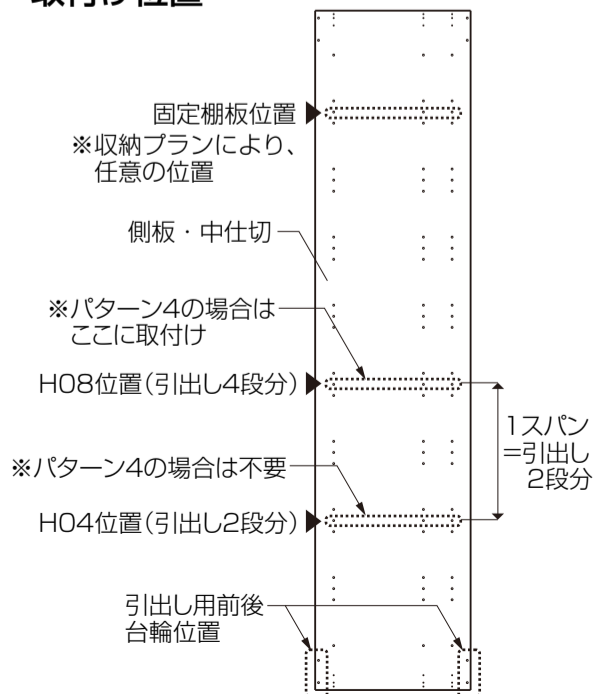
※必ず手回しドライバー又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。  
※適切な位置に取付けてください。組立てができなくなります。

### ■固定棚板の取付け位置について

- 側板-中仕切間を棚板で、はしご状に組むプランの場合は、必ず最上段と最下段に固定棚板を取付けてください。

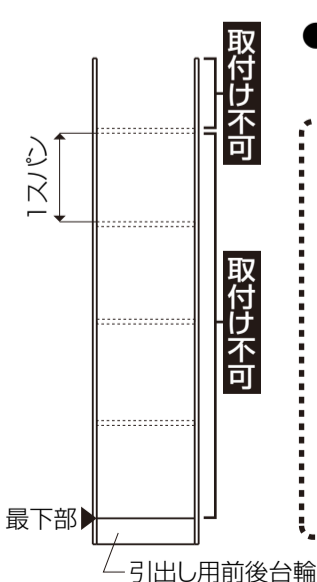


### ■固定棚板・引出し用前後台輪の取付け位置



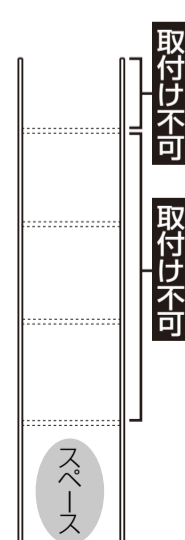
### ■引出しの取付け位置について(側板-中仕切間)

#### 【最下部が引出しの場合】



- 側板-中仕切間に、下から4スパンのみ、取付けできます。
- お願い  
※引出し本体の上(引出し前板上端)(引出しを連続して複数スパン取付ける場合は、最上部の引出し本体の上)には、必ず固定棚板を取付けてください。  
※最下部の引出し本体の下には、引出し用前後台輪を取付けてください。

#### 【最下部がスペースの場合】

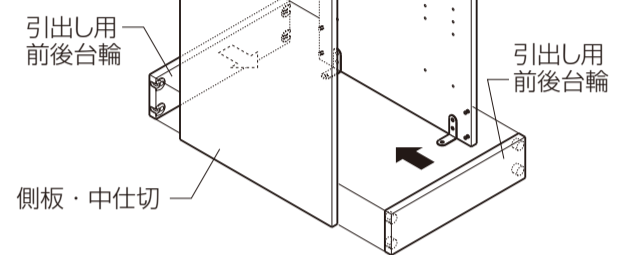
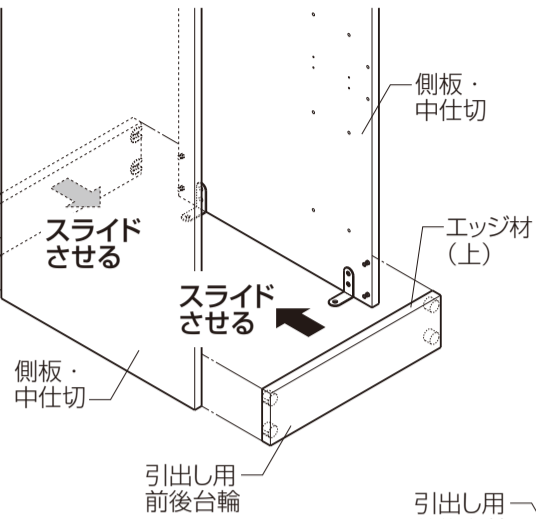
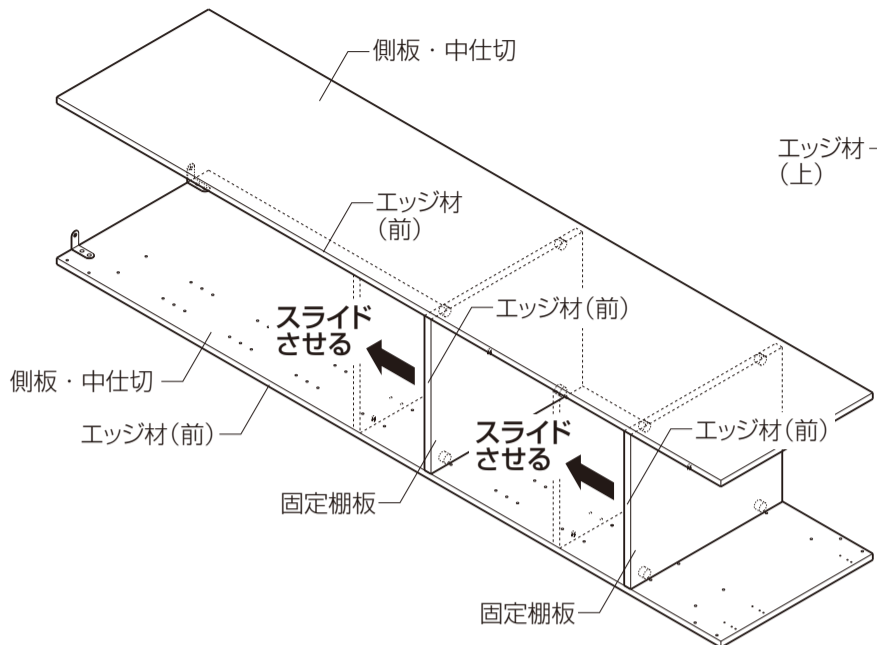


- 最下部をスペースとした場合、側板-中仕切間に下から3スパンのみ、取付けできます。
- お願い  
※引出し本体の上下(引出し前板上下端)(引出しを連続して複数スパン取付ける場合は、最上部の引出し本体の上と最下部の引出し本体の下)には、必ず固定棚板を取付けてください。

③固定棚板をスライドさせて、ジョイント部品で側板・中仕切に固定します。

④引出し用前後台輪をスライドさせて、ジョイント部品で側板・中仕切に固定します。

■詳細図

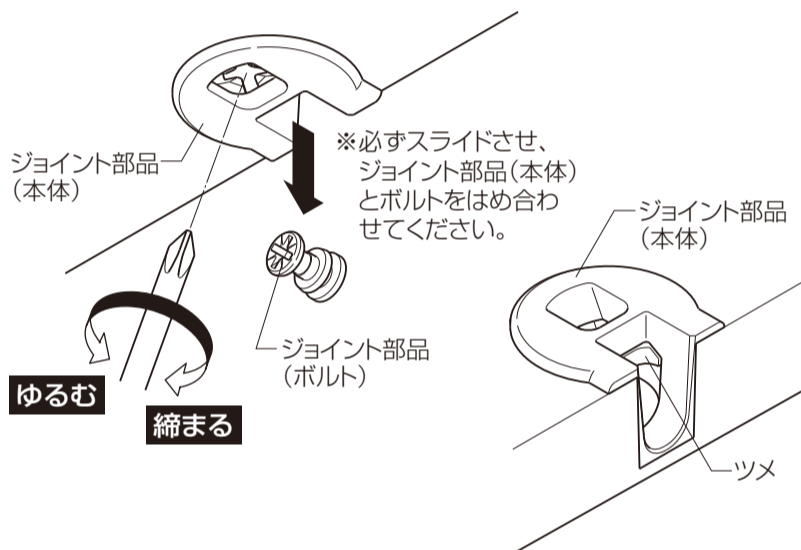


お願い

■ジョイント部品の固定方法

※よく締まらない場合は、回転部のツメを直して締付けるか、ジョイント部品本体にボルトがはめ合わされているか確認してください。(回転部のツメが出ていたらボルトが入りません。)

※ドライバーは、斜めに差込んでください。ジョイント部品が破損するおそれがあります。



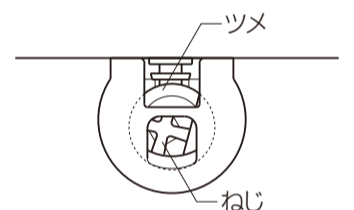
【はめ合わせ時】

※ねじの平らな面を側板と平行にしてはめ合わせます。



【締めた時】

※ねじを90°~105°回転させて固定してください。

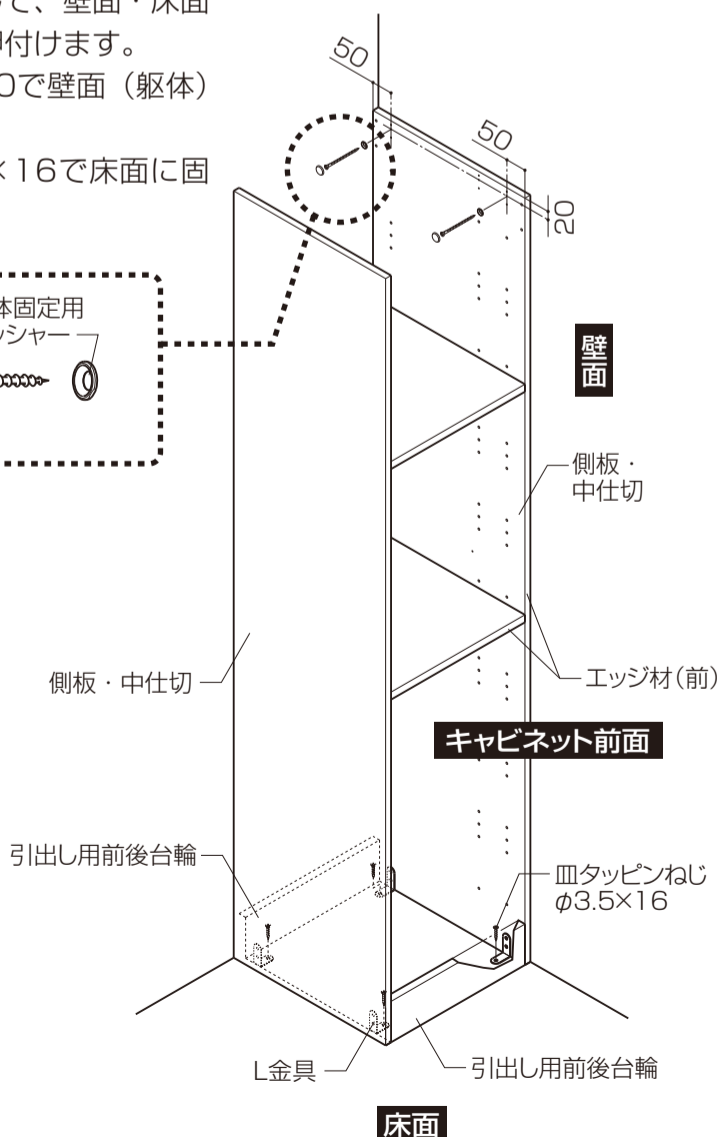
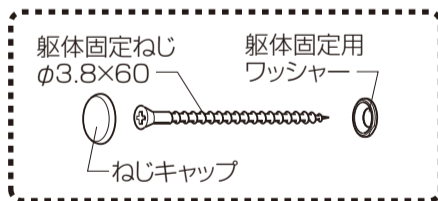


2 キャビネットの壁面(躯体)、床面への固定

①キャビネットを仮置きして、壁面・床面とすき間がないように押付けます。

②躯体固定ねじφ3.8×60で壁面(躯体)に固定してください。

③皿タッピンねじφ3.5×16で床面に固定してください。



3 サイドレールの取付け

●パターン1 / 3 (P5)を参照してください。

4 中間レールの取付け

●パターン2 / 4 (P6)を参照してください。

5 天板の取付け

●パターン2 / 6 (P6)を参照してください。

6 天板用ハンガーパイプの取付け

●パターン2 / 7 (P7)を参照してください。

7 可動棚板の取付け

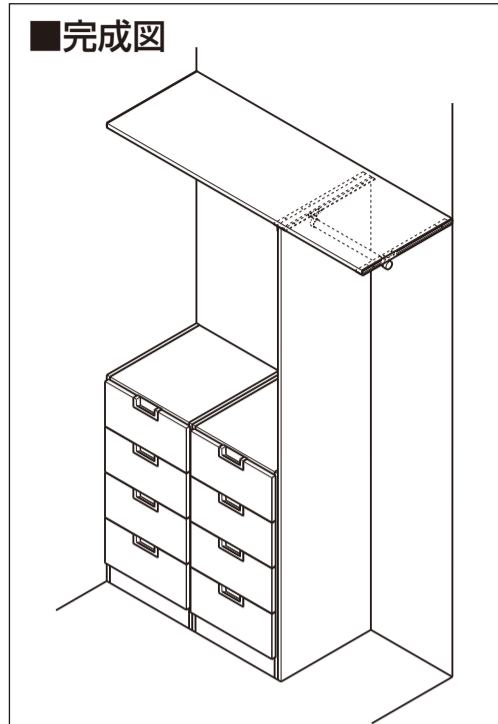
●パターン1 / 5 (P5)を参照してください。

8 引出し本体の取付け

●引出し本体に同梱の取付け説明書を参照して取付けてください。

■パターン5(引出しや天板が並列するパターン)

■完成図



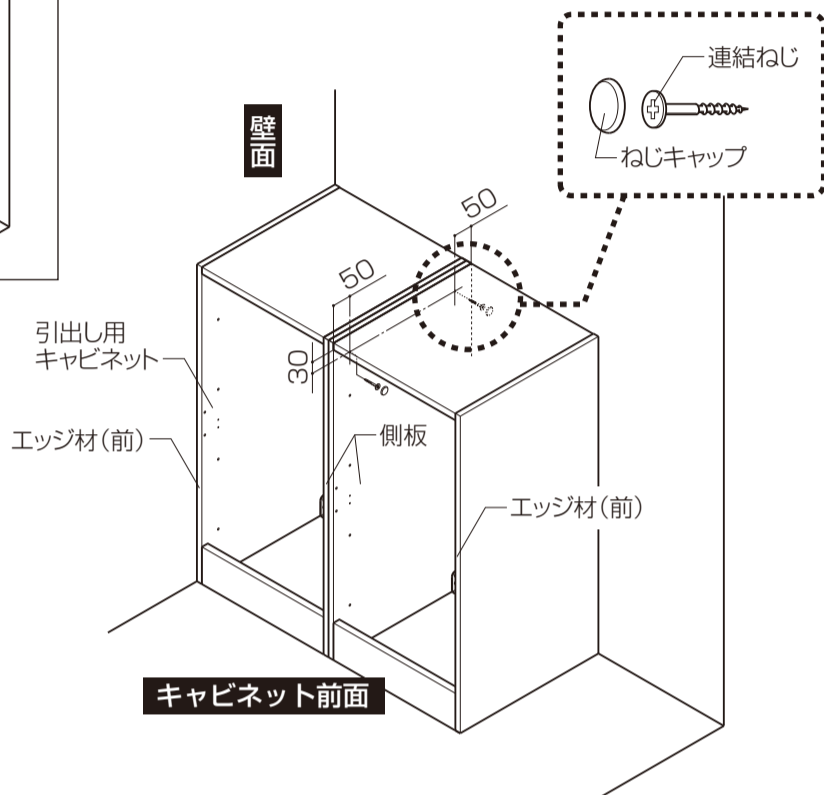
1 引出し用キャビネットの組立て

●パターン3/4(P9)を参照してください。

2 引出し用キャビネットの連結

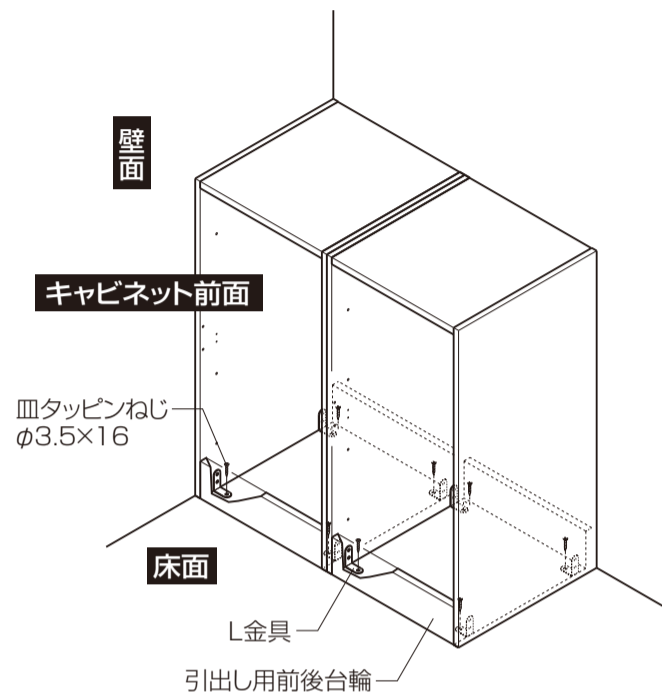
- ①引出し用キャビネットをすき間がないように押付けます。
- ②連結ねじφ4×28で引出し用キャビネットを連結してください。

お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。  
ねじが空転する原因となります。



3 引出し用キャビネットの床面への固定

- ①引出し用キャビネットを設置場所に仮置きして、壁面・床面とすき間がないように押付けます。
- ②皿タッピンねじφ3.6×16で床面で固定してください。



4 中仕切へのL金具の取付け

●パターン2/1(P6)を参照してください。

5 中間レールの取付け

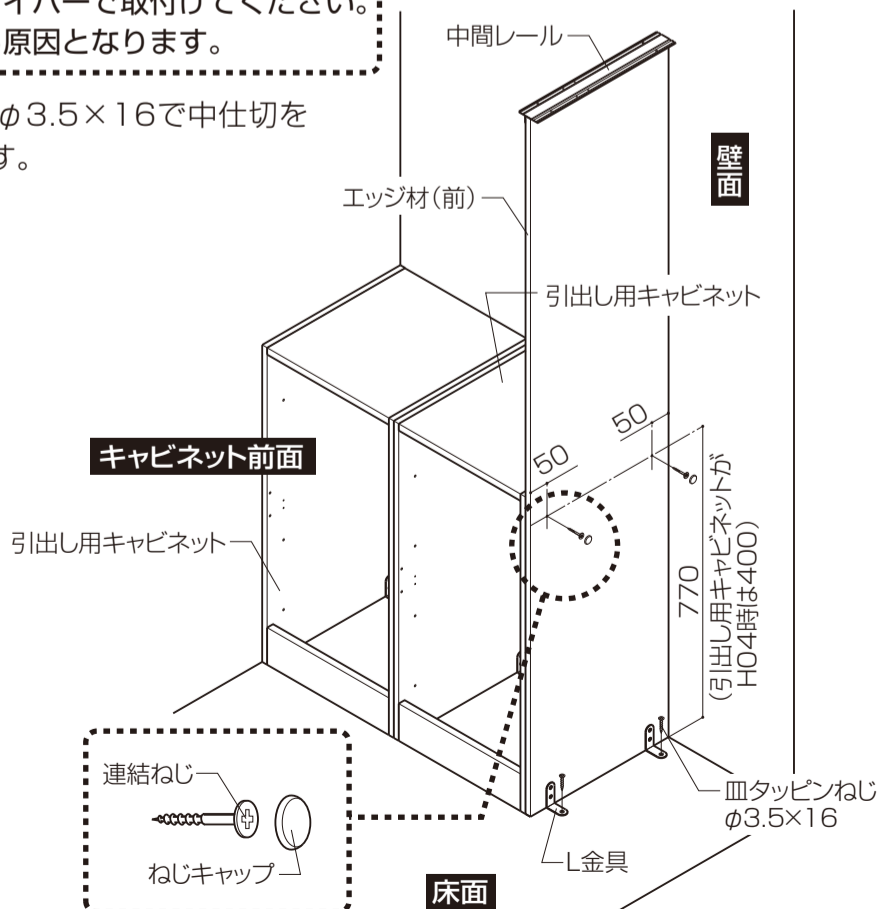
●パターン2/4(P6)を参照してください。

6 引出し用キャビネットと中仕切の連結、中仕切の床面への固定

- ①中仕切を設置場所に仮置きして、壁面・床面・引出し用キャビネットとすき間がないように押付けます。
- ②連結ねじφ4×28で引出し用キャビネットと、中仕切を連結してください。

お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。  
ねじが空転する原因となります。

- ③皿タッピンねじφ3.5×16で中仕切を床面に固定します。

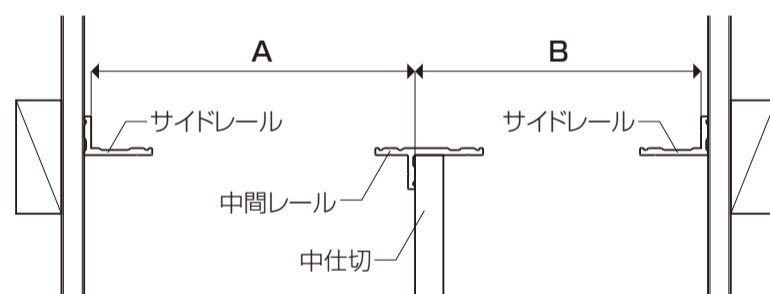


7 サイドレールの取付け

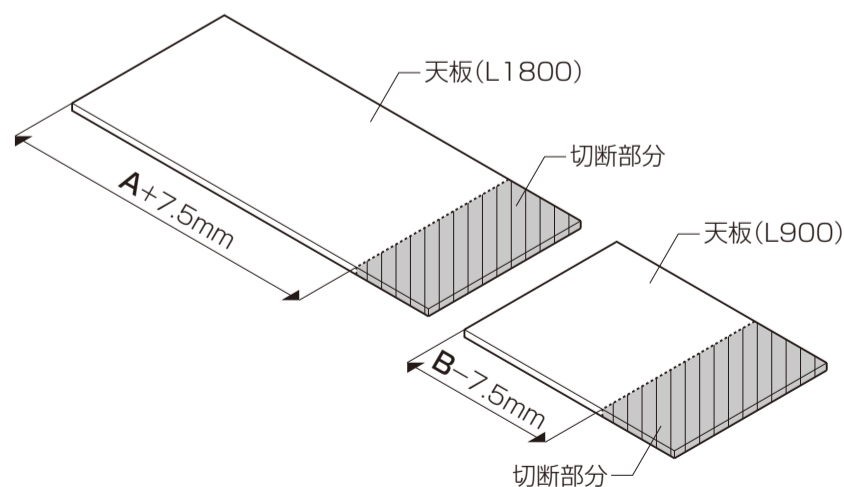
●パターン1/3(P5)を参照してください。

8 天板の取付け

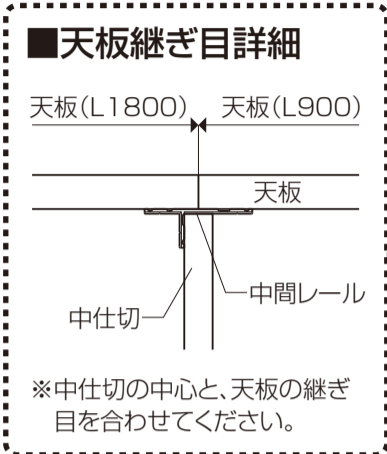
- ①サイドレールー中間レール間寸法を採寸します。



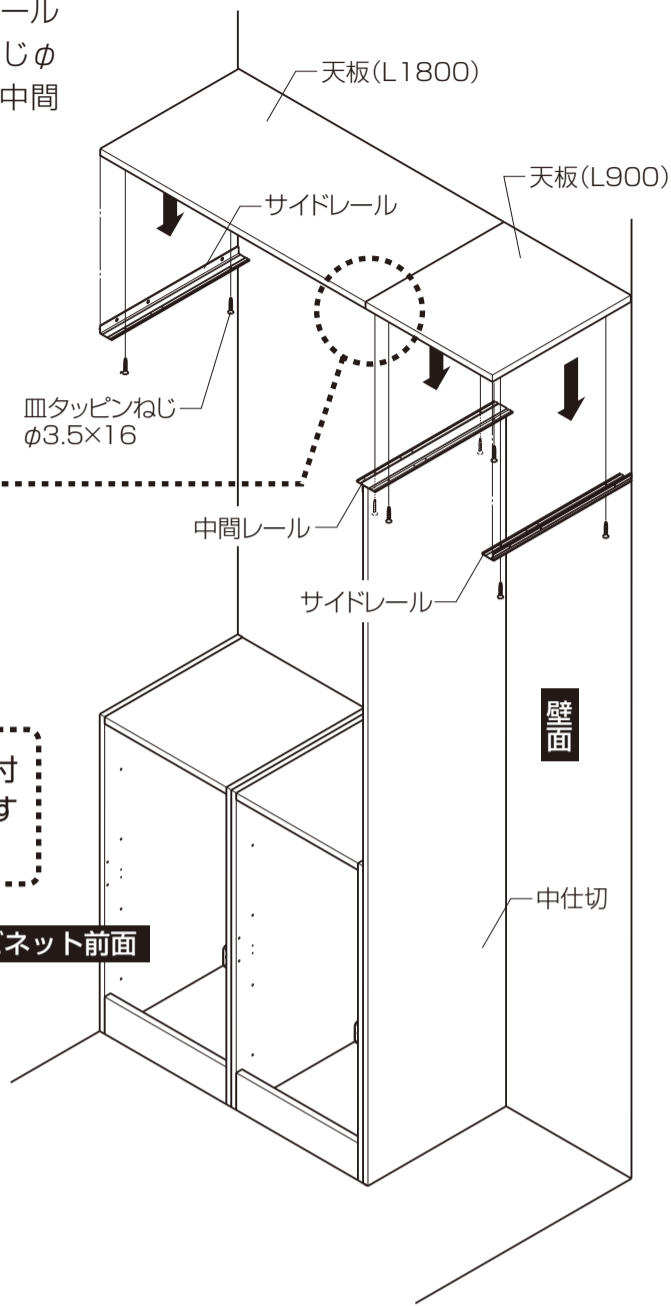
- ②天板を下記の寸法で切断します。



③天板をサイドレール・中間レールの上に乗せて、皿タッピンねじφ3.5×16でサイドレール・中間レールに固定します。

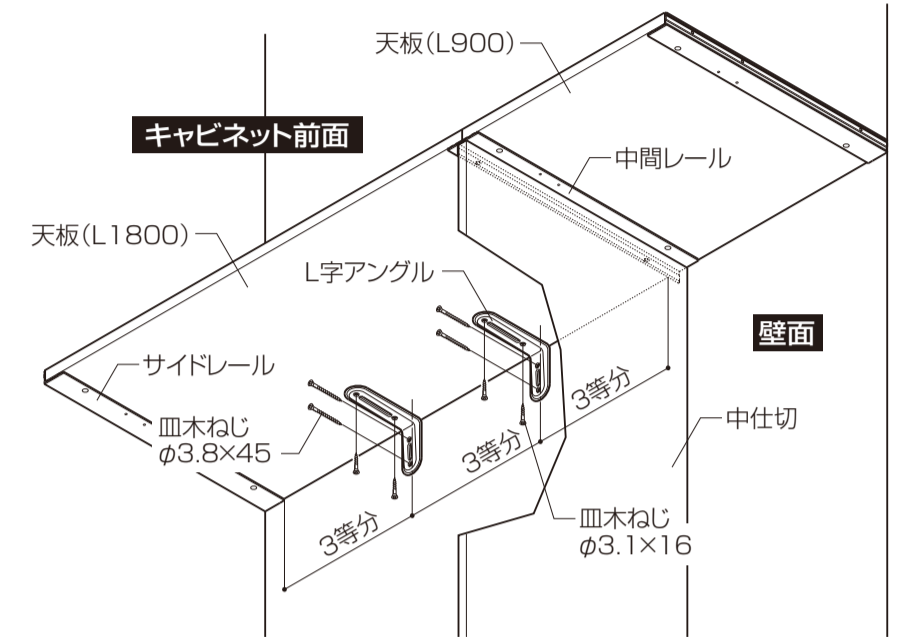


**お願い**  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

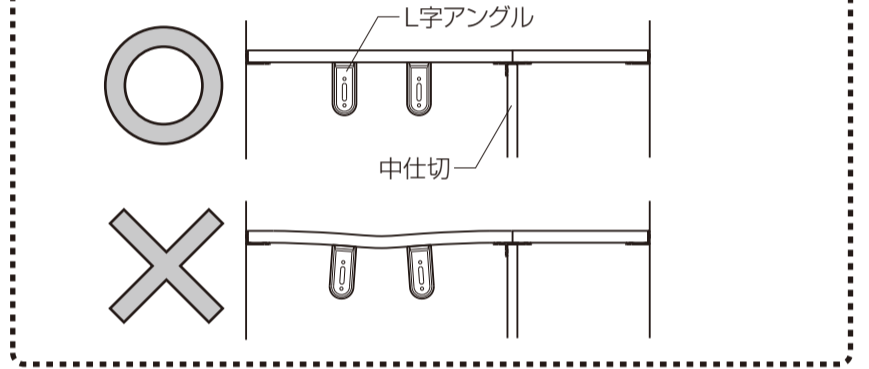


④サイドレール-中間レール間寸法を3等分した位置にL字アングルを壁面(躯体)に皿木ねじφ3.8×45で固定します。次に皿木ねじφ3.1×16で天板に固定します。

**お願い**  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。



**お願い**  
※天板の垂れがないようにL字アングルを取付けてください。



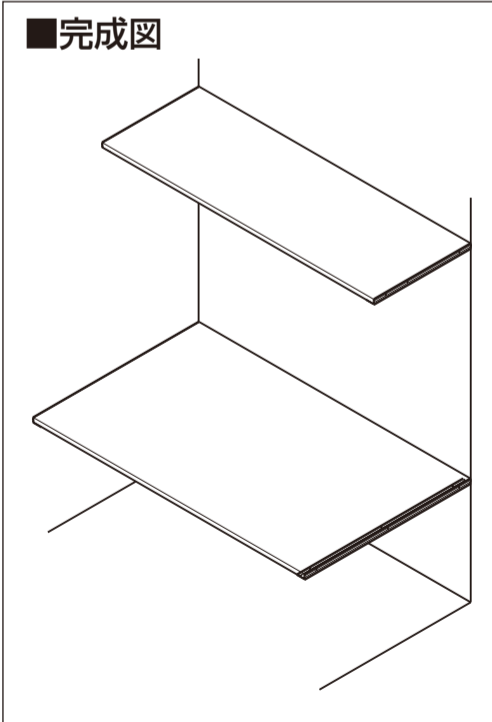
**9 天板用ハンガーパイプの取付け**

●パターン2/7(P7)を参照してください。

**10 引出し本体の取付け**

●引出し本体に同梱の取付け説明書を参照して取付けてください。

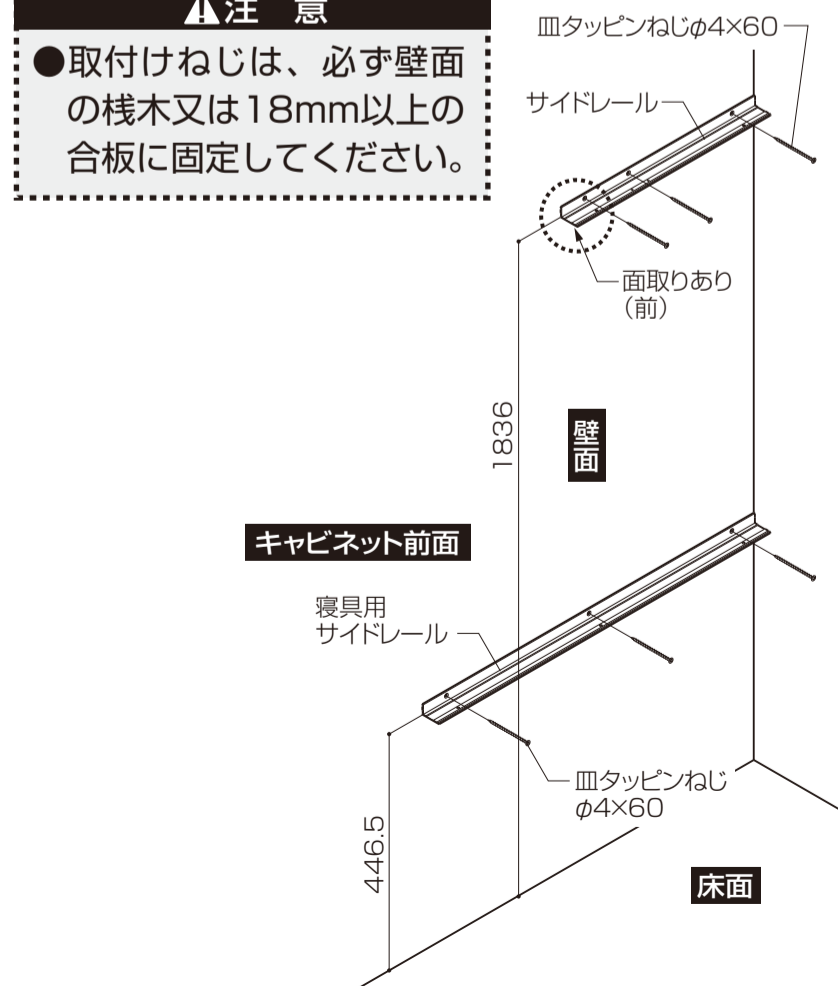
**■パターン6(寝具用サイドレールを使うパターン)**



**1 サイドレール・寝具用サイドレールの取付け**

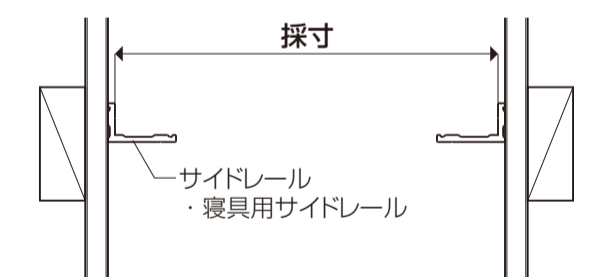
●サイドレール・寝具用サイドレールを下図の高さの位置に、皿タッピンねじφ4×60で壁面(躯体)に固定します。

**▲注意**  
●取付けねじは、必ず壁面の  
栈木又は18mm以上の  
合板に固定してください。

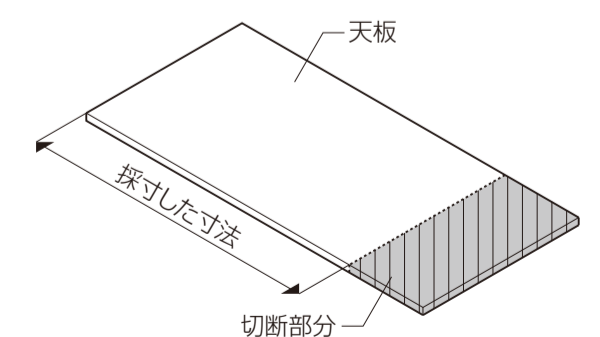


**2 天板・寝具用棚板の取付け**

①サイドレール・寝具用サイドレール内法寸法を採寸します。



②天板・寝具用棚板を採寸した寸法で切断します。



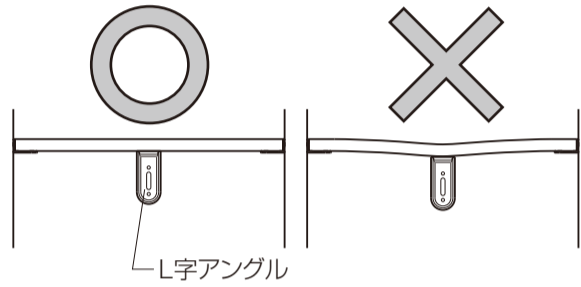
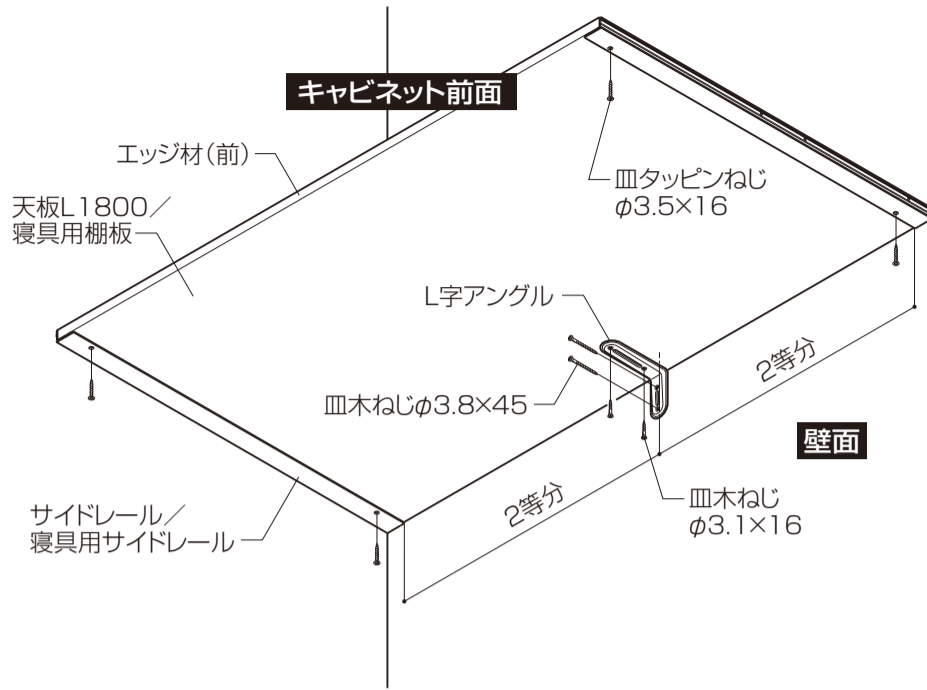
③天板・寝具用棚板を各レールの上に乗せて、皿タップインねじφ3.5×16で各レールに固定します。

●お願い●  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

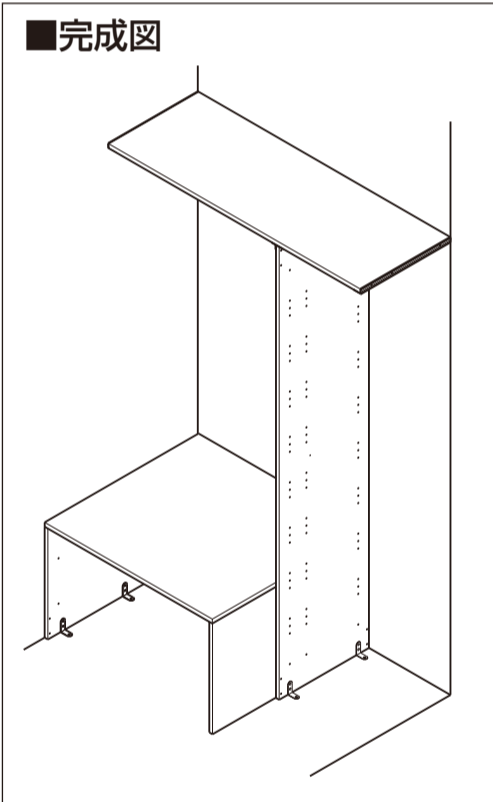
④レール間距離を2等分した位置に、L字アングルを壁面(躯体)に皿木ねじφ3.8×45で固定します。次に皿木ねじφ3.1×16で天板・寝具用棚板に固定します。

●お願い●  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

●お願い●  
※天板・寝具用棚板の垂れがないようにL字アングルを取付けてください。



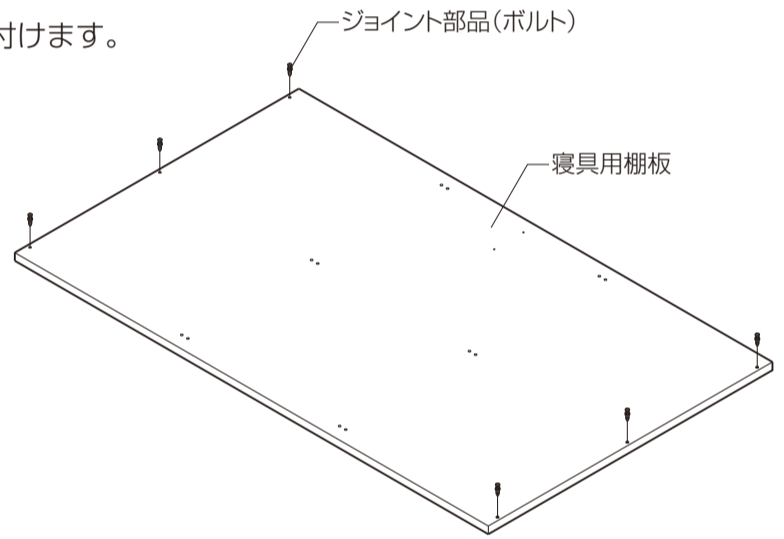
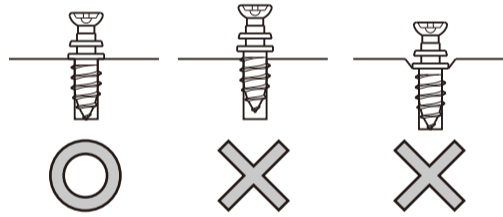
■パターン7(寝具用側板を使うパターン)



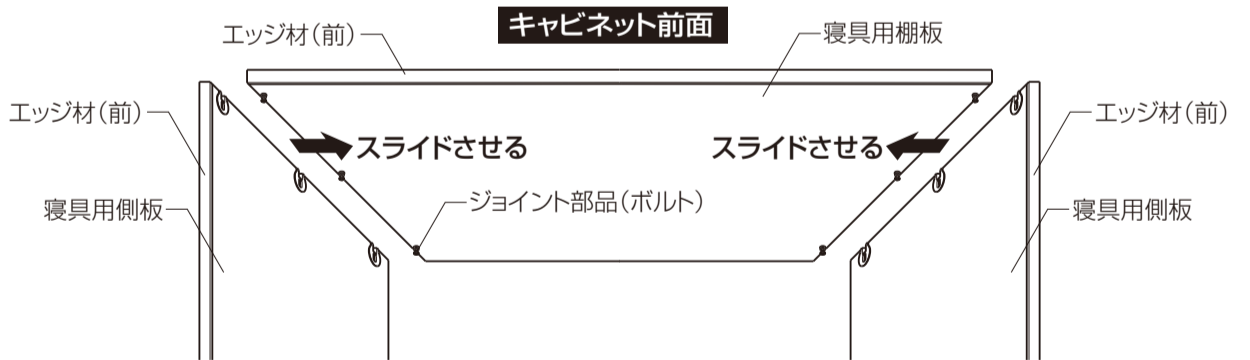
1 寝具用棚の組立て

①ジョイント部品(ボルト)を寝具用棚板に取付けます。

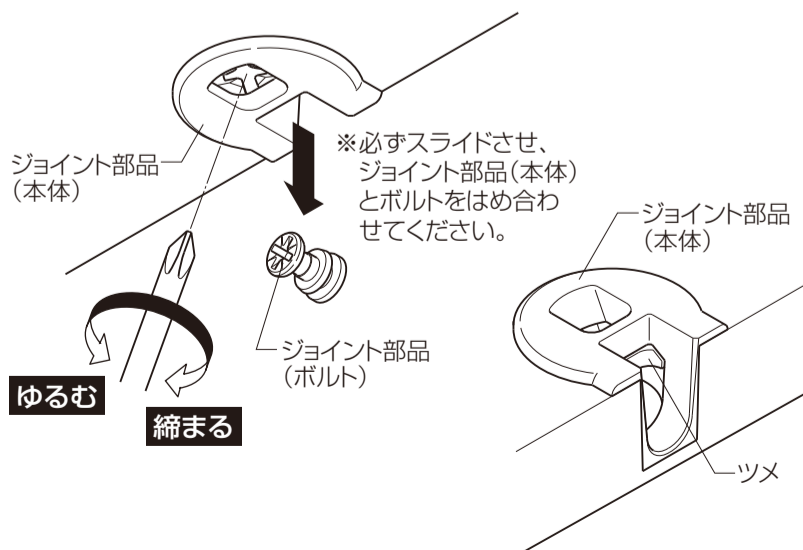
●お願い●  
■ジョイント部品(ボルト)の取付け方法  
※必ず手回しドライバー又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。  
※適切な位置に取付けてください。組立てができなくなります。



②寝具用側板をスライドさせて、ジョイント部品で寝具用棚板に固定します。

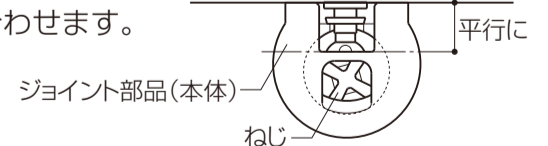


●お願い●  
■ジョイント部品の固定方法  
※よく締まらない場合は、回転部のツメを直して締付けるか、ジョイント部品本体にボルトがはめ合わされているか確認してください。(回転部のツメが出ているとボルトが入りません。)  
※ドライバーは、斜めに差込んでください。ジョイント部品が破損するおそれがあります。



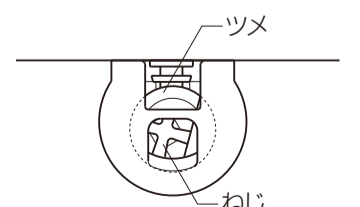
【はめ合わせ時】

※ねじの平らな面を側板と平行にしてはめ合わせます。



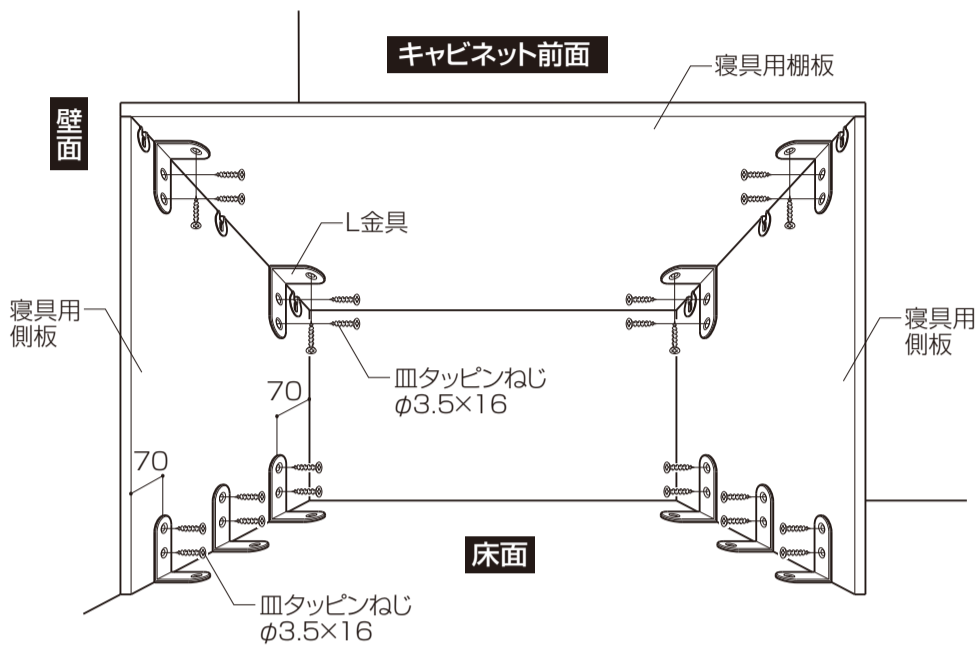
【締めた時】

※ねじを90°~105°回転させて固定してください。



③寝具用側板の下穴位置に合わせて、L金具を皿タップピンねじφ3.5×16で固定します。次に、寝具用棚板に対してL金具を皿タップピンねじφ3.5×16で固定します。

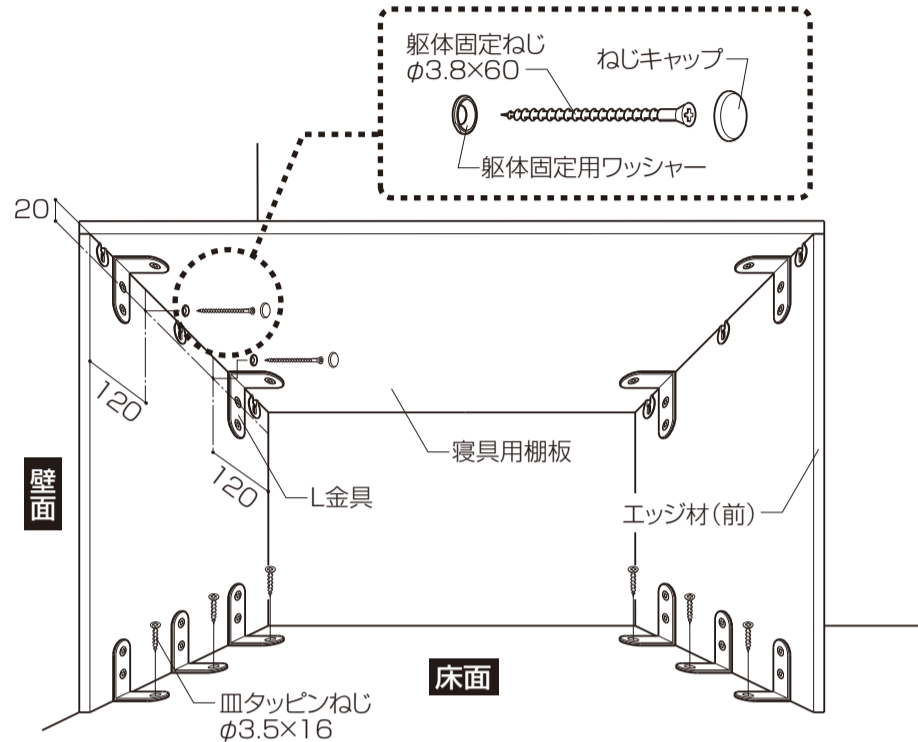
●お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。



**2 寝具用棚の壁面(躯体)、床面への取付け**

①寝具用棚を仮置きして、壁面・床面とすき間がないように押付けます。  
②躯体固定ねじφ3.8×60で壁面(躯体)に固定してください。  
③皿タップピンねじφ3.5×16で床面に固定してください。

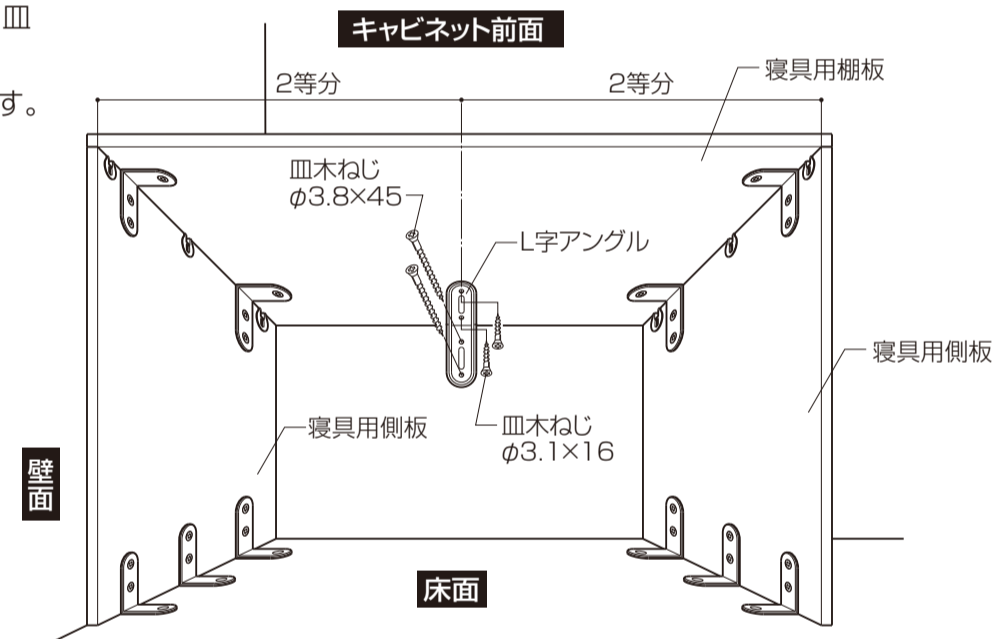
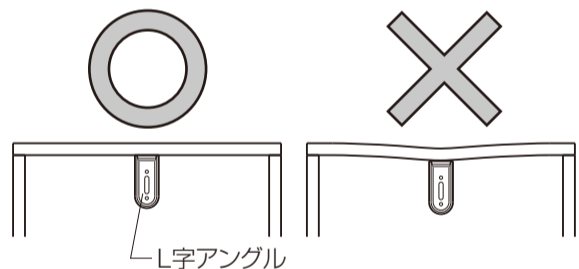
●お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。



④寝具用側板内法寸法を2等分した位置に、L字アングルを壁面(躯体)に皿木ねじφ3.8×45で固定します。次に皿木ねじφ3.1×16で、寝具用棚板に対してL字アングルを固定します。

●お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

●お願い  
※寝具用棚板の垂れがないようにL字アングルを取付けてください。



**3 中仕切へのL金具の取付け**

●パターン2 / 1 (P6)を参照してください。

**4 中間レールの取付け**

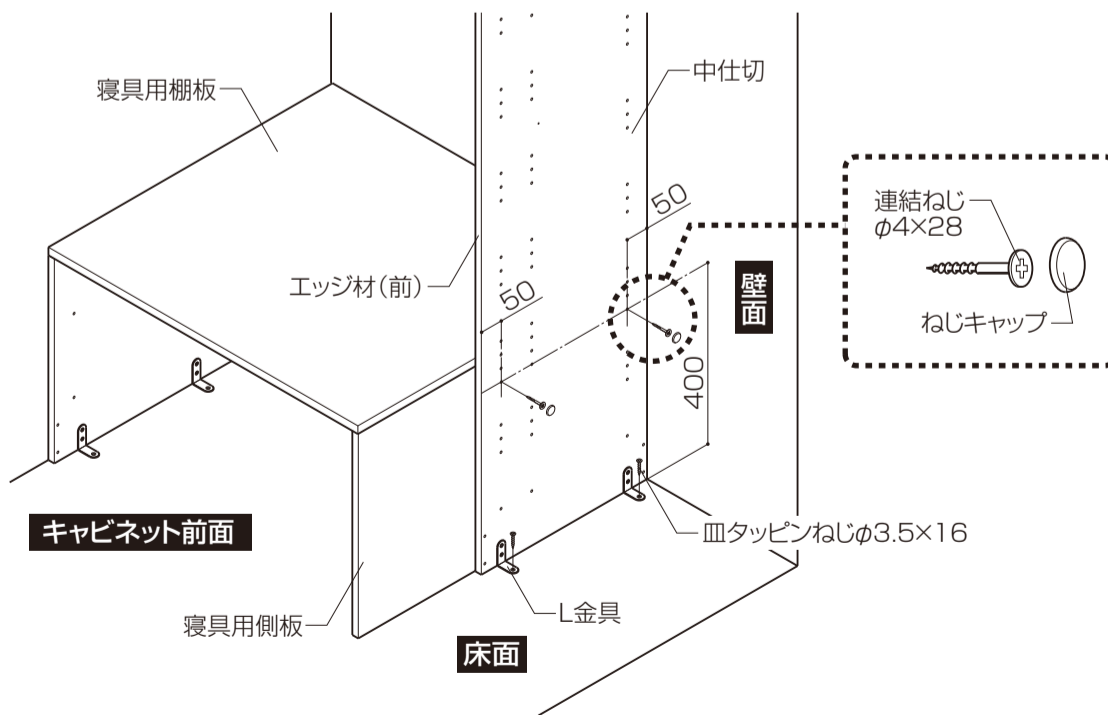
●パターン2 / 4 (P6)を参照してください。

**5 寝具用棚と中仕切の連結、中仕切の床面への固定**

①中仕切を仮置きして、壁面・床面・寝具用側板とすき間がないように押付けます。  
②連結ねじφ4×28で中仕切を寝具用側板に連結してください。

●お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

③皿タップピンねじφ3.5×16で床面に固定してください。



**6 サイドレールの取付け**

●パターン1 / 3 (P5)を参照してください。

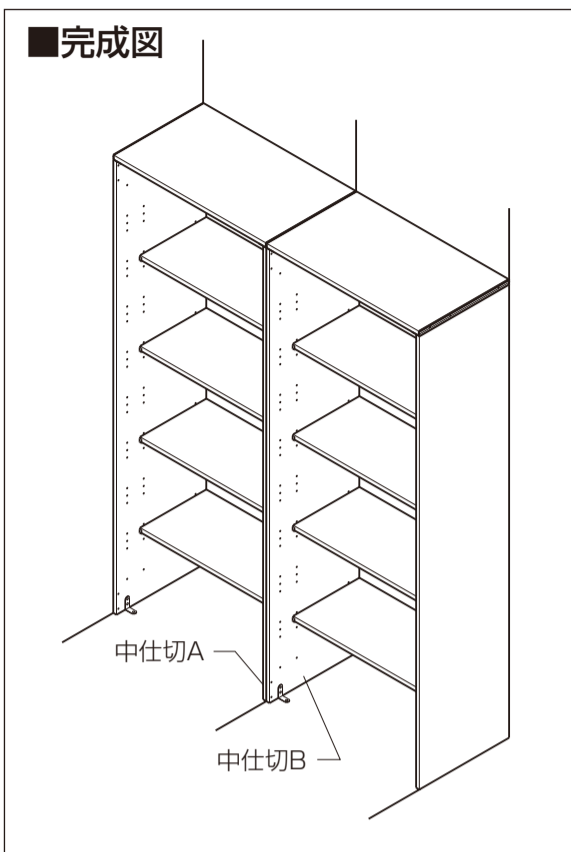
**7 天板の取付け**

●パターン2 / 6 (P6)を参照してください。

**8 天板用ハンガーパイプの取付け**

●パターン2 / 7 (P7)を参照してください。

■パターン8(樹脂棚板を使うパターン)



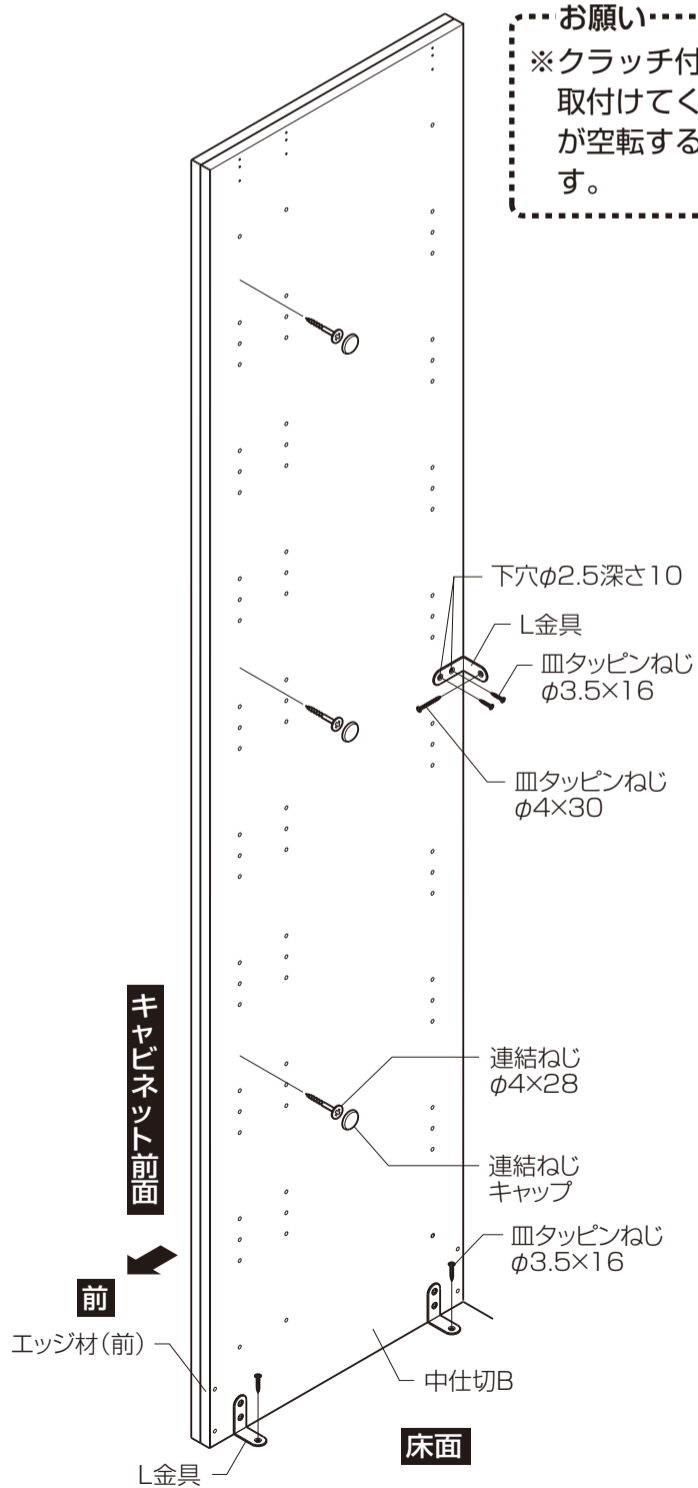
- 1 側板・中仕切へのL金具の取付け**  
●パターン2/1(P6)を参照してください。
- 2 側板の壁面(躯体)、床面への固定**  
●パターン1/2(P4)を参照してください。
- 3 サイドレールの取付け**  
●パターン1/3(P5)を参照してください。
- 4 中間レールの取付け**  
●パターン2/4(P6)を参照してください。
- 5 中仕切Aの固定**  
●パターン2/5(P6)を参照してください。  
※L金具は向かって左側に取付けてください。
- 6 天板の取付け**  
●パターン2/6(P6)を参照してください。  
※天板が並列する場合はパターン5/8(P12)を参照してください。

お願い  
※必ず中仕切Bより天板を先に取付けてください。  
中間レールと天板の固定ができなくなります。

**7 中仕切Bの固定**

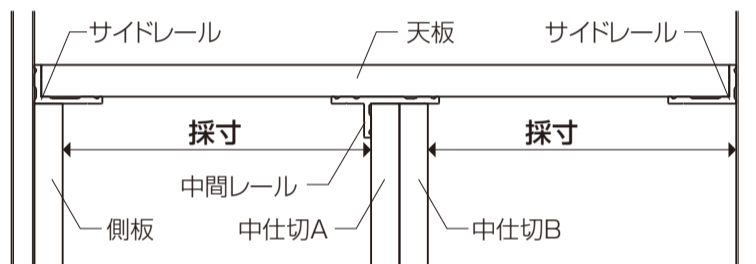
- ①中仕切Bを中仕切Aの右側に置き、中仕切Aとすき間がないこと、キャビネット前面が揃っていることを確認し、中仕切Aと中仕切Bを連結ねじφ4×28(別売品)で連結します。  
※棚板に干渉しない位置で連結してください。
- ②皿タッピングねじφ3.5×16で床面に固定します。
- ③壁の栈木位置を確認し、L金具で壁と中仕切を固定します。

お願い  
※クラッチ付ドライバーで取付けてください。ねじが空転する原因となります。

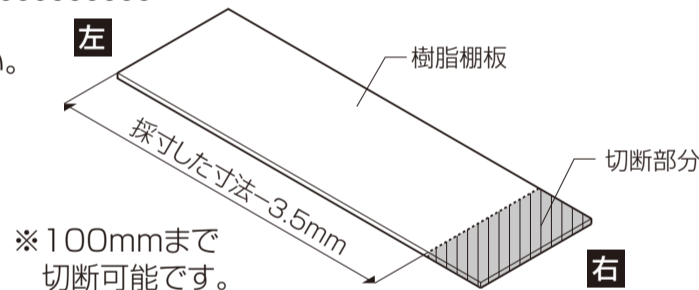


**8 樹脂棚板の取付け**

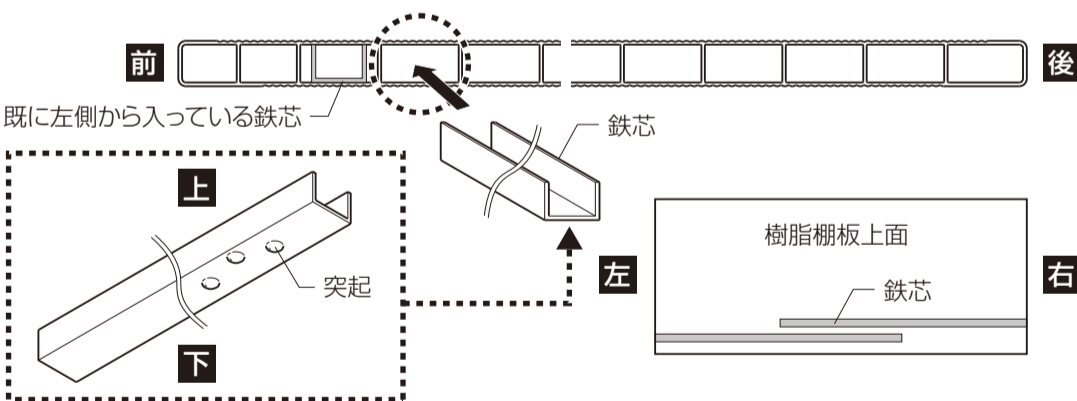
- ①側板・中仕切内法寸法を採寸します。



- ②樹脂棚板を採寸した寸法-3.5mmで切断します。  
※右側を切断してください。



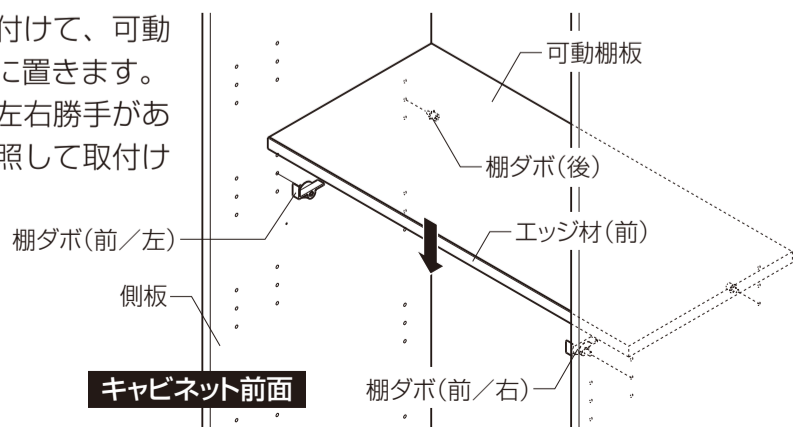
- ③切断後、同梱の鉄芯を○の位置に下図の向きで右側から挿入します。  
※丸い突起がない方から挿入してください。



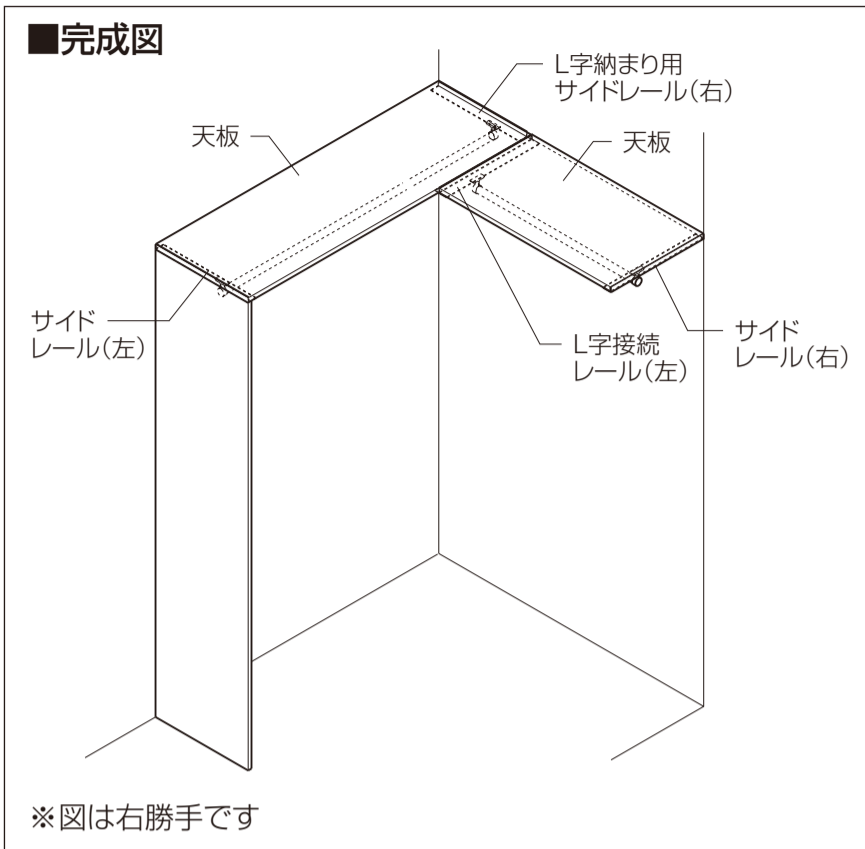
**注意**

●鉄芯は2本が互い違いになるように挿入してください。  
同じ方向から挿入すると、棚板強度が不足し、脱落するおそれがあります。

- ④側板に棚ダボを取付けて、可動棚板を棚ダボの上に置きます。  
※棚ダボ(前)には左右勝手があります。下図を参照して取付けてください。



■パターン9(L字納まりパターン)



**1 側板へのL金具の取付け**

●パターン1 / **1** (P4)を参照してください。

**2 側板の壁面(躯体)、床面への固定**

●パターン1 / **2** (P4)を参照してください。

**3 サイドレールの取付け**

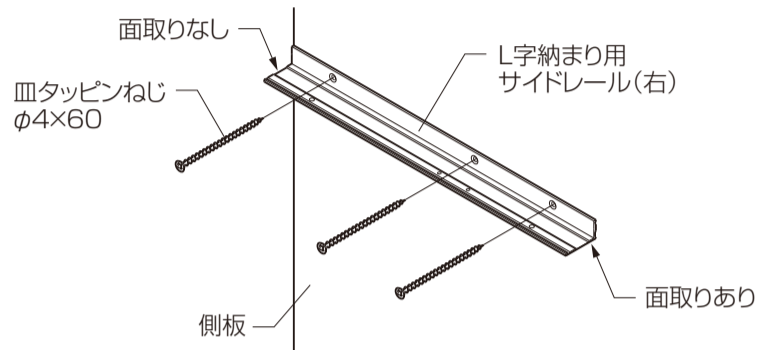
●パターン1 / **3** (P5)を参照してください。

**4 L字納まり用サイドレールの取付け**

※L字納まり用サイドレールはサイドレールより20mm短くなっています。

●パターン1 / **3** (P5)を参照してください。

※このときレールは入り隅部壁面とのすき間がないようにしてください。

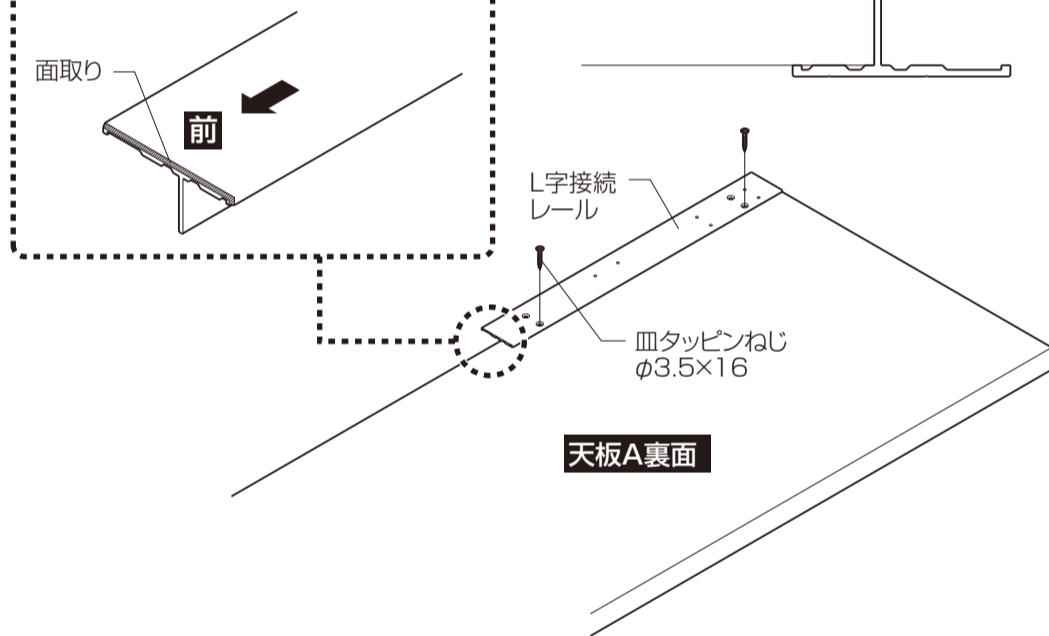


**5 L字接続レールの取付け**

①天板Aの下面端部にL字接続レールを皿タッピンねじφ3.5×16で取付けます。

**■L字接続レールの前後確認**

※面取りがある方が前になります。

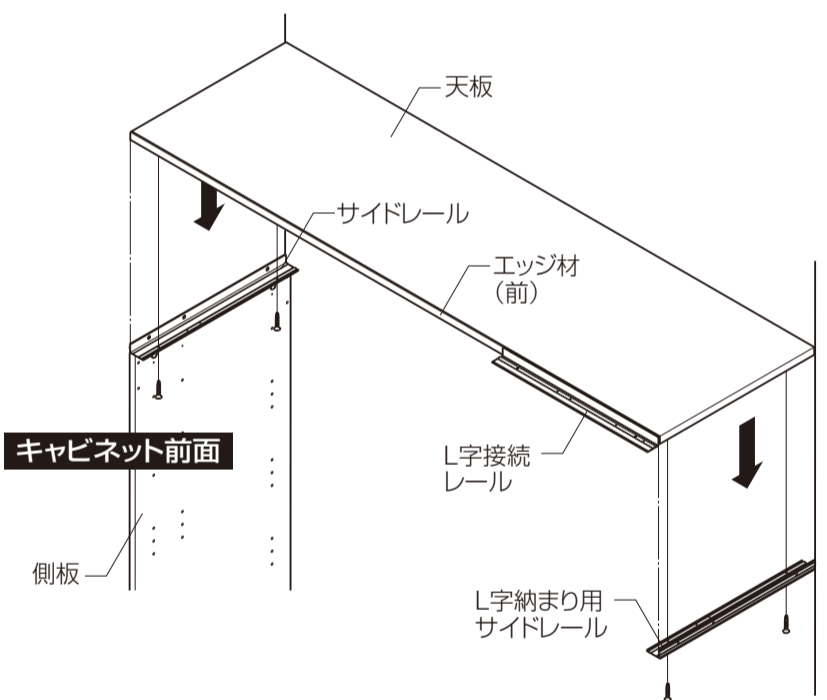


**6 天板Aの取付け**

①天板Aをサイドレール・L字納まり用サイドレールの上に乗せて、

皿タッピンねじφ3.5×16でサイドレールに固定します。

※中仕切のあるパターンの場合は、「パターン2 / **6**」を、天板L1800を使用する場合は「パターン3 / **2**」を、天板が並列する場合はパターン5 / **8**を参照してください。



**7 天板Bの取付け**

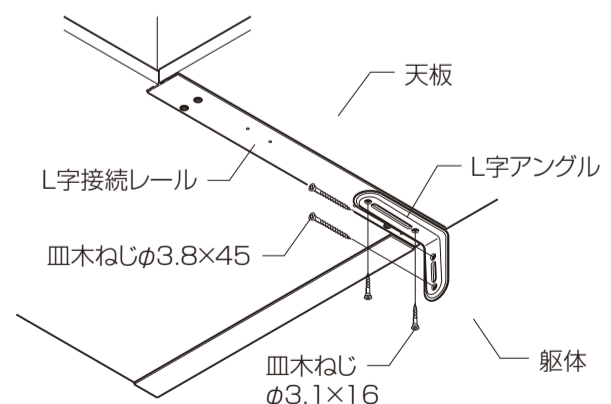
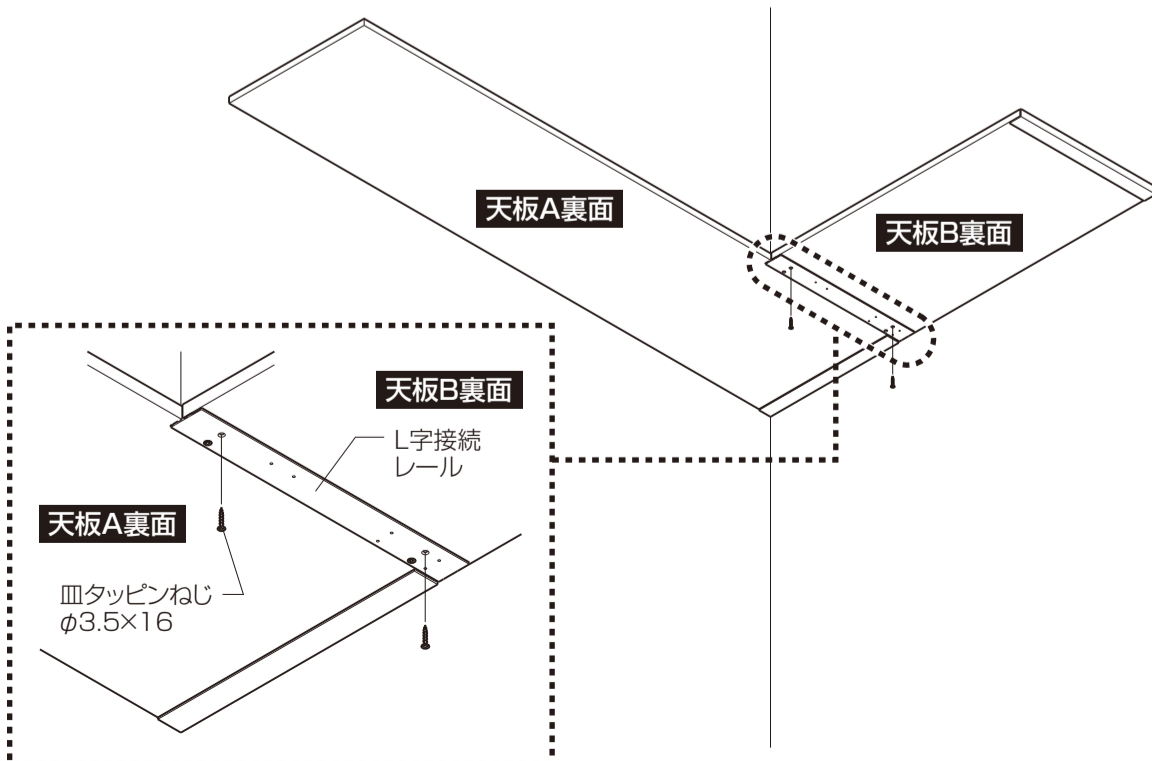
①天板Bをサイドレール・L字納まり用サイドレールの上に乗せて、

皿タッピンねじφ3.5×16でサイドレールに固定します。

②L字アングルをL字接続レールに皿木ねじφ3.1×16で

固定します。(天板と共締めです。)

③皿木ねじφ3.8×45で壁面(躯体)に固定します。

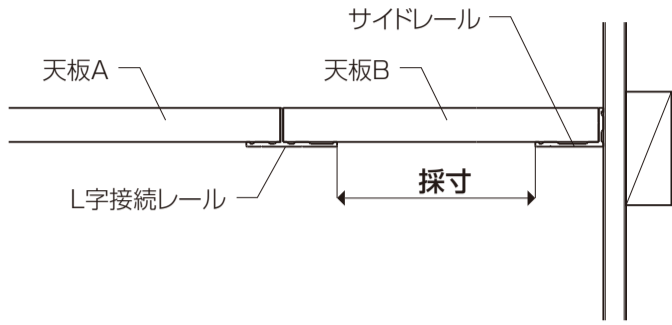


**8 天板用ハンガーパイプの取付け**

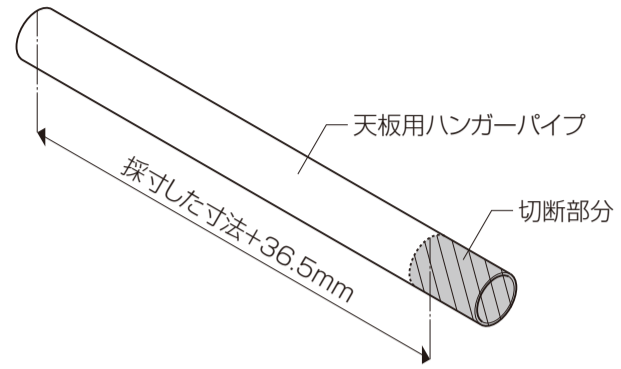
●パターン2 / 7 (P7)を参照してください。

なお、L字接続レールとサイドレール間のハンガーパイプは下図のように寸法を採寸してください。

①L字接続レール-サイドレール間の寸法を採寸します。



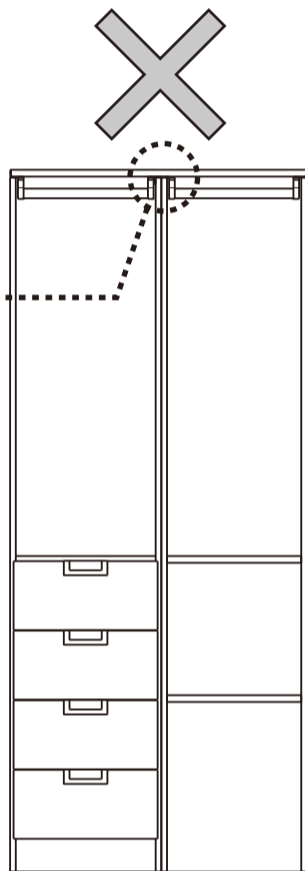
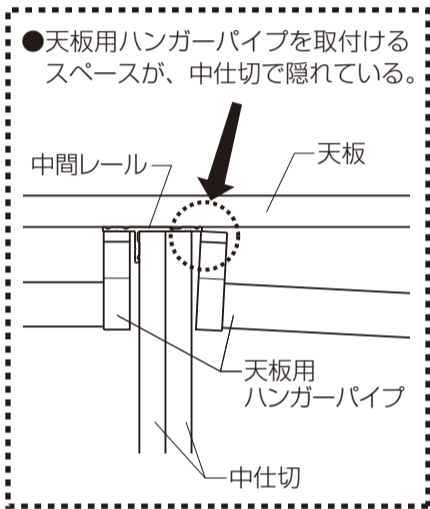
②天板用ハンガーパイプを採寸した寸法+36.5mmで切断します。



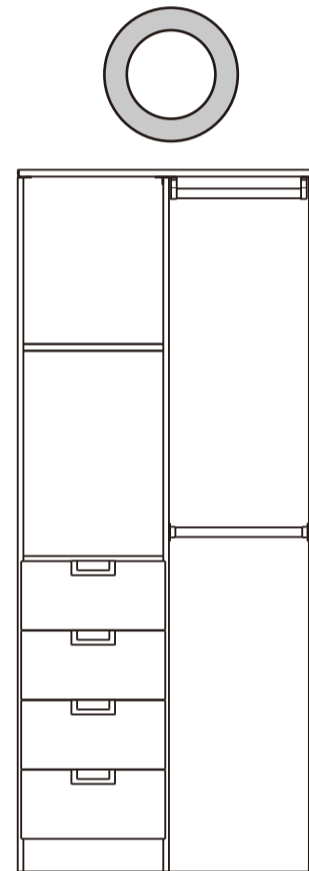
**■不可能な収納プラン例**

**【例1】**

●中仕切が2枚連結するプランで、その中仕切の両側に天板用ハンガーパイプをつけるプラン。

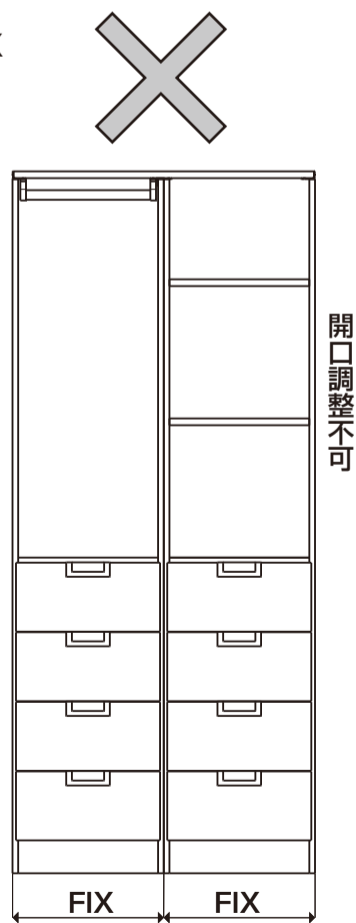


●天板用ハンガーパイプを取付ける下穴が、中仕切りによってかくれるため、取付けできません。中仕切1枚になるように、収納プランの変更をお願いします。



**【例2】**

●収納プランの全ての列がFIX幅の場合。



●開口調整ができないため、開口一杯に収納を納めることができません。必ず一列は、開口調整可能なプランに変更をお願いします。

